

赤磐市 公共交通に関するアンケート調査

通勤、通学、買い物、通院などの日常生活における移動に関するアンケート

アンケート調査について

【配布・回収】 郵送配布、郵送またはウェブフォームでの回答

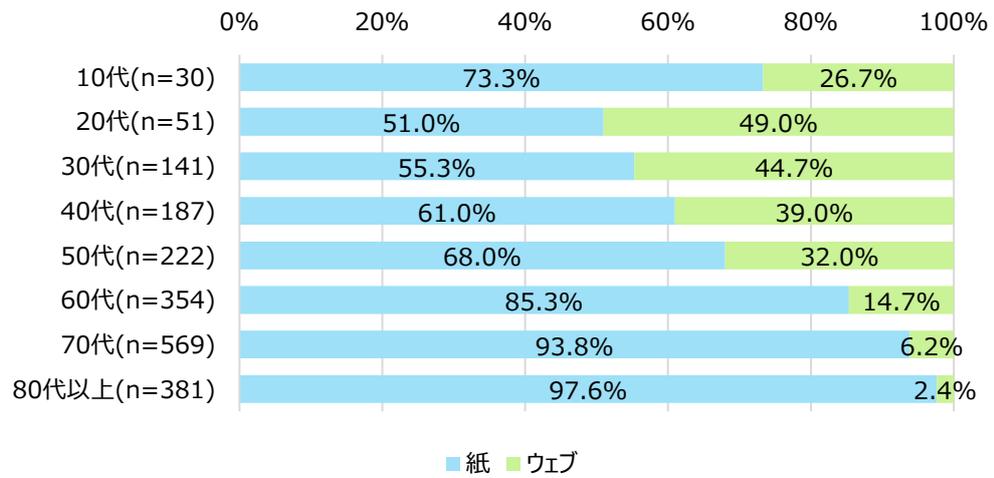
【配布数】 赤磐市内の3,500世帯

高校生以上の方を対象に、1世帯あたり調査票3部を配布

【実施期間】 令和4年10月14日～令和4年10月31日

【有効回答数】：1,972（紙調査票での回答：1,636 ウェブフォームでの回答：336）

<回答方法（年代別）>



調査結果の概要

回答者について

- ・ 回答者の年代は約半数が70代以上。居住地は山陽地域が60.7%と最も多い。世帯構成は二世帯世帯が38.5%と最も多い。
- ・ 自動車運転免許の保有率は20～60代が9割以上の一方で、80代以上の保有率は50.1%。また、10年以内に自動車運転免許を返納予定の方は70代で22.7%、80代以上で37.8%。
- ・ よく利用する交通手段は、「自動車（自分で運転する）」が78.4%と最も多い。自動車運転免許を持っていない方と返納した方のみで見ると、「自動車（乗せてもらう）」が63.1%と最も多い。
- ・ 利用頻度について、自動車はほぼ毎日の利用が65.2%、バスは月に数回以上利用する方が12.4%、鉄道は月に数回以上利用している方が5.6%。
- ・ スマートフォンについて、60代以下は9割以上が保有しているが、80代以上は5割以上が保有していない。

日常生活における移動について

最も多い行き先

- 買い物：マルナカ山陽店
- 通院：赤磐医師会病院
- 通勤・通学：岡山市北区
- その他お出かけ：岡山市北区

コロナ前と現在の移動頻度の変化

買い物 : 「減った」が 39.6%

→ 約半数はコロナ禍後「コロナ前に戻ると思う」または「現在より増えると思う」

通院 : 「減った」が 9.1%

通勤・通学 : 「減った」が 6.1%

その他お出かけ : 「減った」が 37.5%

→ 約7割はコロナ禍後「コロナ前に戻ると思う」または「現在より増えると思う」

バスの満足度・重要度について

- ・ 「自宅からバス停までの距離」、「車両のわかりやすさ（車体色など）」の満足度が高い。一方で、「運行本数」、「運行時間帯」の満足度が低い。
- ・ 「運行本数」、「運行時間帯」の重要度が高い。

バス停の環境について

- ・ バス停にあると良いものとして、「屋根」の回答が最も多く、80.2%。

市民バスの新たな取り組みについて

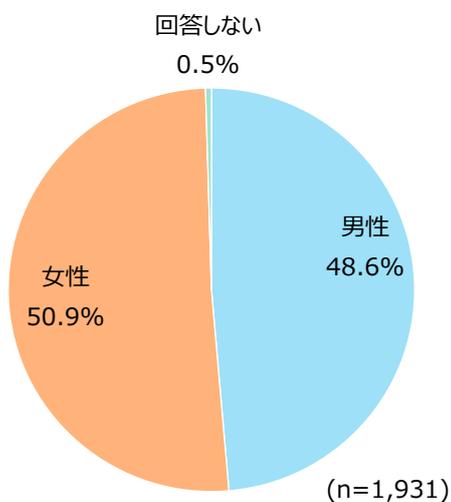
- ・ 予約型乗合バスについて、「利用したい」は 23.7%。
- ・ 貨客混載について、利用してみたいと思う使い方として「お弁当など事前に予約した商品を店舗から宅配」が 40.8%。
- ・ 移動サービスの最適化、予約・決済を一括で行うサービスについて、「利用したい」は 22.3%。
- ・ キャッシュレス決済について、市民バスで「利用したい」が 34.4%。
- ・ 複数の公共交通の定額乗り放題サービスについて、利用したい交通機関として「市民バス」が最も多く 38.3%。

公共交通のサービス水準と市の財政負担について

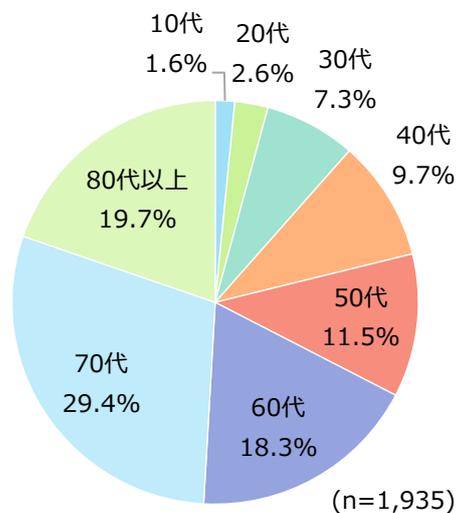
- ・ 優先すべき目的として、「高齢者や障がい者、妊産婦の移動を便利にする」が 54.6%と最も多い。
- ・ 市の財政負担のあり方として、「現状並みの市の負担で、適宜改善を加えながら公共交通のサービスを維持するべき」が 56.2%と最も多い。

1. あなた自身について

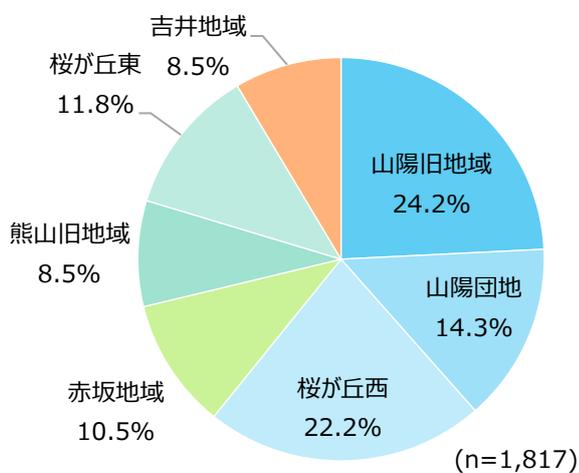
(1) 性別



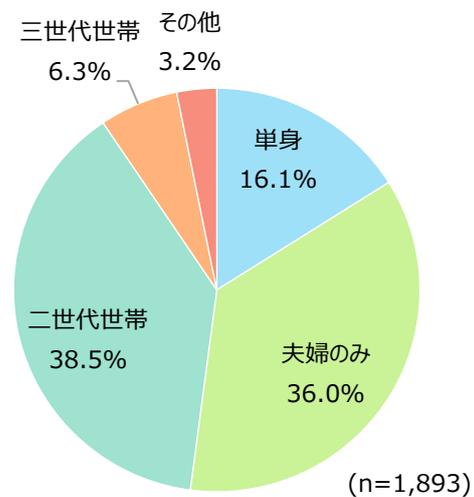
(2) 年代



(3) 居住地



(4) 世帯構成



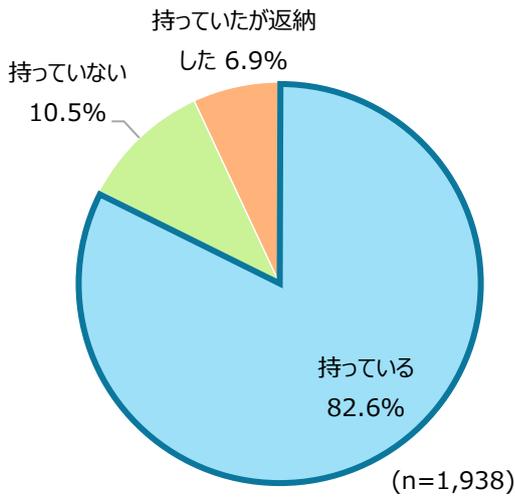
【性別】男性、女性それぞれ約半数。

【年代】回答者の約半数が70代以上。

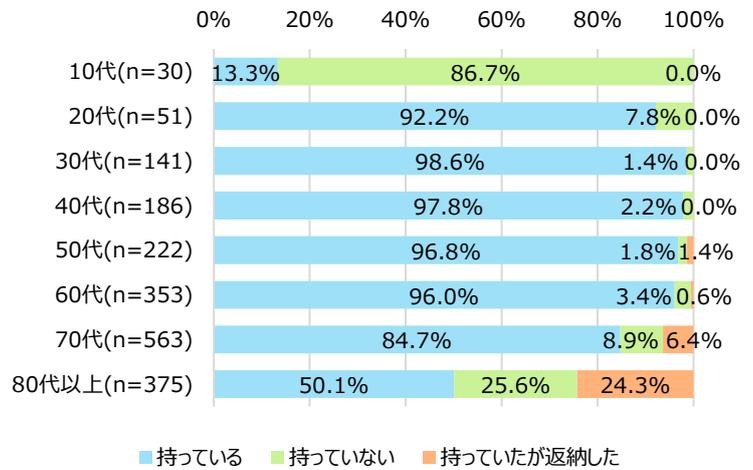
【居住地】山陽地域（山陽旧地域、山陽団地、桜が丘西）60.7%、赤坂地域10.5%、熊山地域（熊山旧地域、桜が丘東）20.3%、吉井地域8.5%。

【世帯構成】「二世帯世帯」が38.5%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が36.0%。

(5) 自動車運転免許

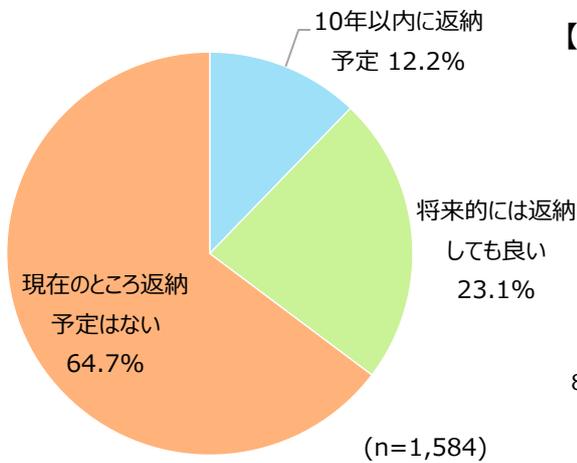


【年代別】

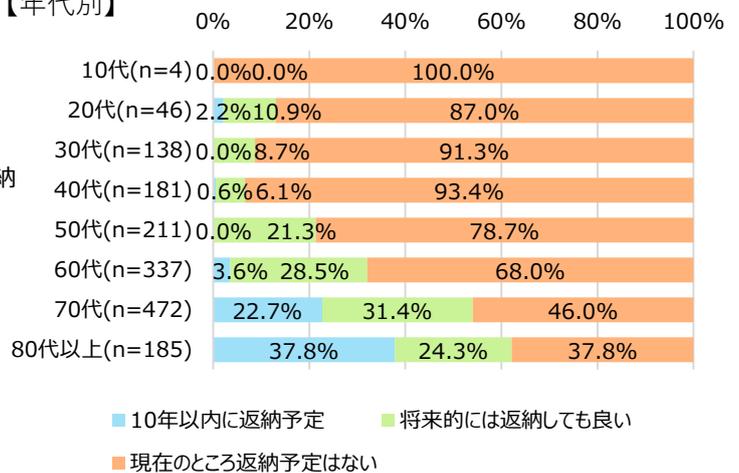


自動車運転免許保有者が8割以上。
年代別にみると、20代～60代は9割以上が自動車運転免許を保有している。80代以上の免許保有者は50.1%で、24.3%が自動車運転免許を返納している。

(6) 自動車運転免許の返納予定 ※ (5) で「持っている」と回答した方

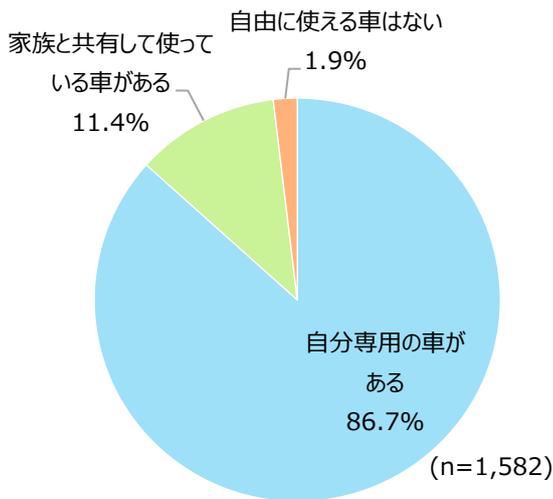


【年代別】



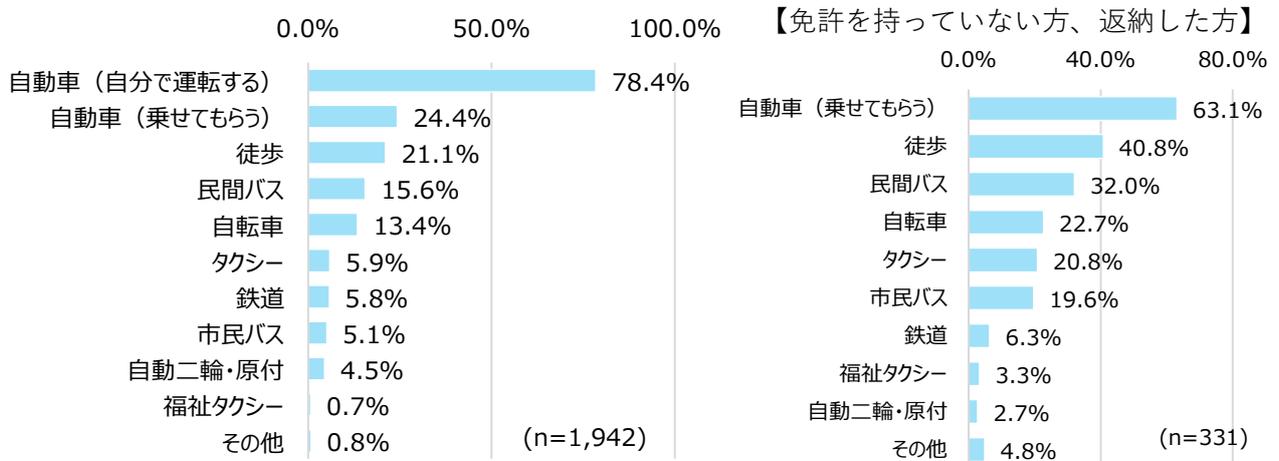
「現在のところ返納予定はない」が最も多く、64.7%。
年代別にみると、「10年以内に返納予定」は70代で22.7%、80代以上で37.8%となっている。

(7) 自由に使える車 ※ (5) で「持っている」と回答した方



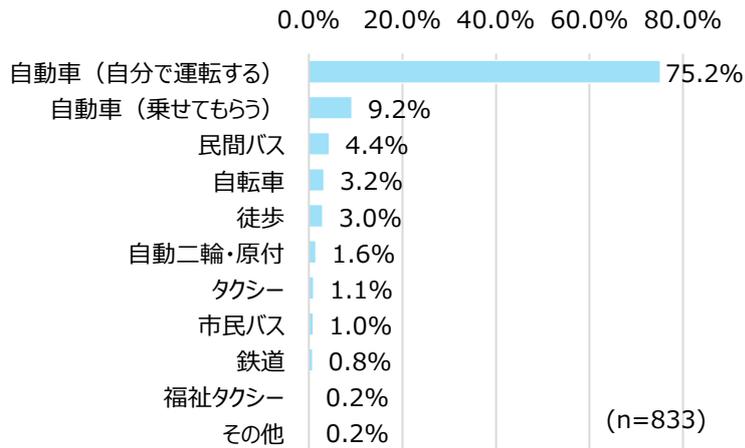
自分専用の車を持っている人が 86.7%。

(8) 日常生活でよく利用する交通手段（複数回答可）



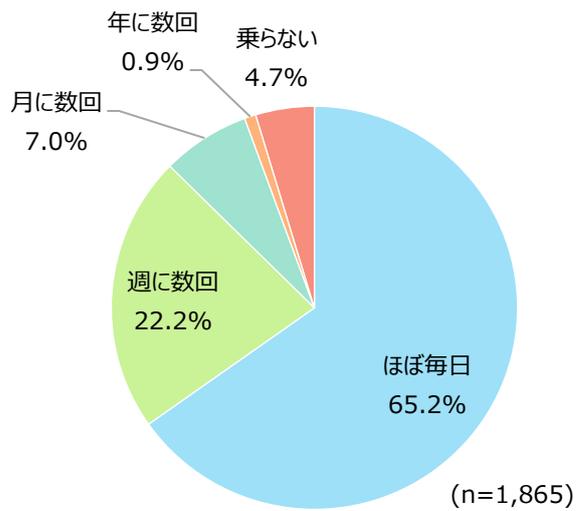
「自動車（自分で運転する）」が 78.4% と最も多く、次いで「自動車（乗せてもらう）」が 24.4%。自動車運転免許を持っていない方と返納した方のみで見ると、「自動車（乗せてもらう）」が 63.1% と最も多い。また、民間バスが 32.0%、タクシーが 20.0%、市民バスが 19.6% となっている。

最も利用する交通手段（単一回答）



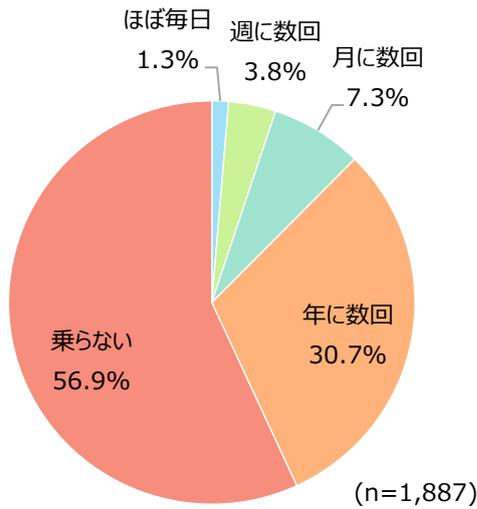
「自動車（自分で運転する）」が 75.2%と最も多い。それ以外の交通手段を最も使う人はそれぞれ 1 割未満。

(9) 自動車の利用頻度



ほぼ毎日自動車を利用する人が 65.2%。

(10) バスの利用頻度



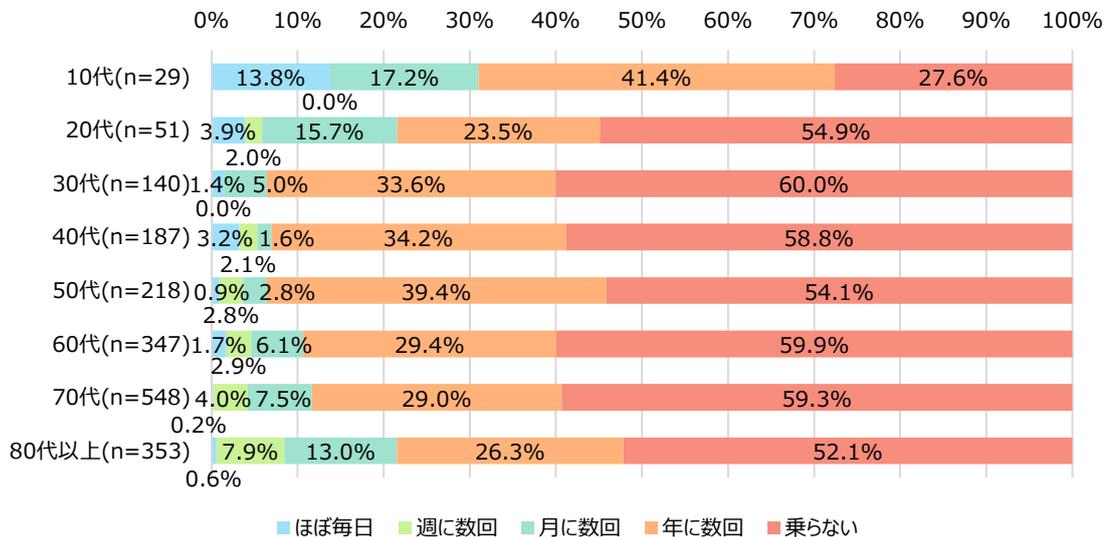
「乗らない」が56.9%と最も多い。月に数回以上バスを利用する方は12.4%。

年代別にみると、10代、20代、80代以上は2割以上が月に数回以上バスを利用している。

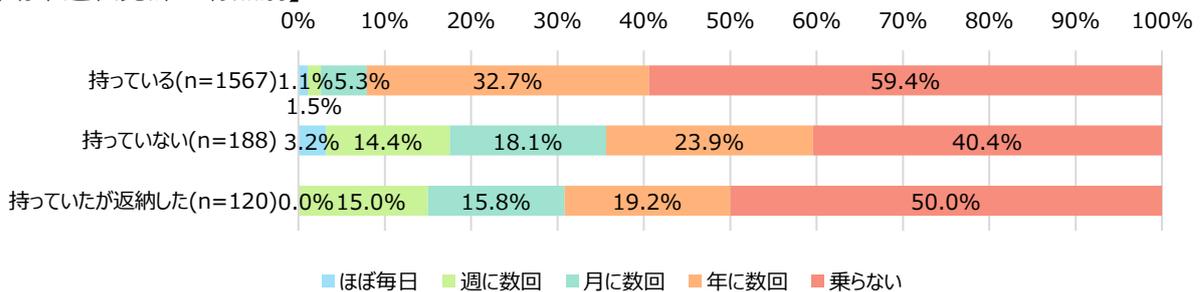
自動車運転免許の有無別にみると、持っていないまたは返納した方は3割以上が月に数回以上バスを利用している。

自動車運転免許の返納予定別にみると、10年以内に返納予定の方は1割以上が月に数回以上バスを利用している。

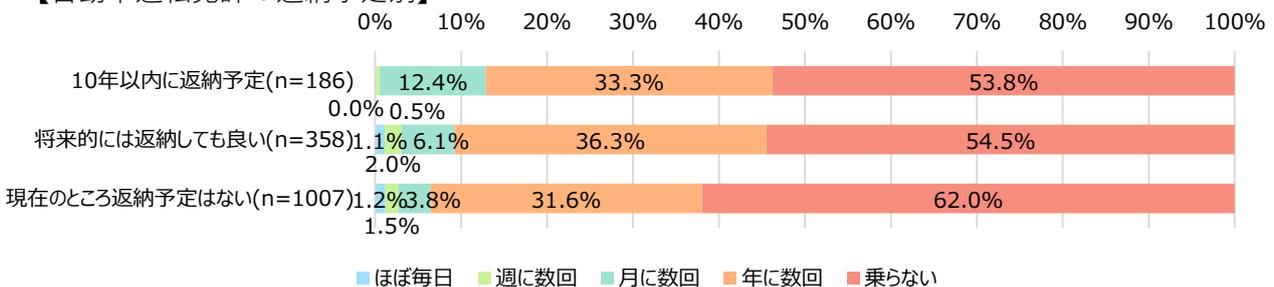
【年代別】



【自動車運転免許の有無別】



【自動車運転免許の返納予定別】

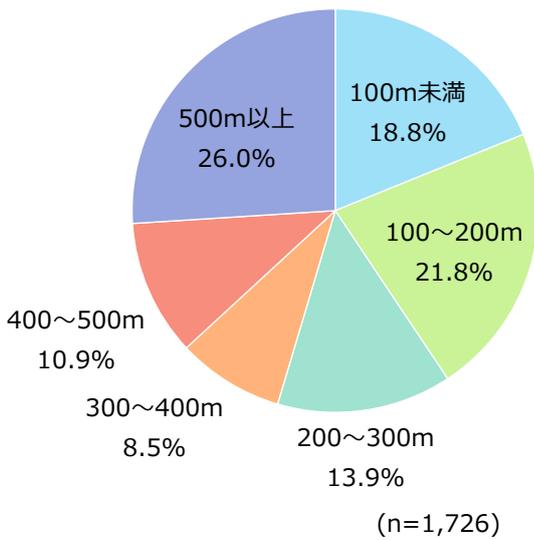


(11) 最寄りのバス停

バス停名	実数	バス停名	実数	バス停名	実数
桜が丘中央	146	桜が丘西9丁目東	6	福田住宅前	2
桜が丘西5丁目	93	奥吉原	6	高田	2
山陽団地中3番	39	福田	6	小山	2
桜が丘西3丁目	39	西山団地	6	斗有中	2
桜が丘西6丁目	39	小瀬木東	6	宮ノ峠	2
山陽団地中2番	36	山陽団地西3番	6	東1丁目東下	2
下市	36	グリーンタウン殿谷	6	仁保下	2
桜が丘西2丁目	34	五日市下	5	合田下	2
下市上	32	釣井	5	仁保上	2
足王神社口	29	保育園前	5	岡	2
周匝	28	新道高屋	5	合田上	2
新道河本	27	東2丁目公園	5	南佐古田口	2
桜が丘西1丁目	27	水口	5	軽部住宅前	2
山陽西小学校前	26	桜が丘東6丁目上	5	下仁保	2
町苅田	25	吉井中学校前	5	桜が丘郵便局	2
坂辺	25	殿谷下	4	桜が丘西1丁目上	2
岩田	23	沢原共撰場	4	軽部上	2
桜が丘東6丁目	23	新道河本西	4	鵜前地藏堂	2
桜が丘西9丁目中	21	桜が丘西10丁目中	4	山口	2
新道穂崎	21	仁堀下	4	船廻り	2
郵便局前	20	吉原東	4	石砂	2
桜が丘運動公園口	17	仁堀局前	4	熊山診療所	2
仁堀	15	窪田	4	徳富南	1
馬屋	15	沼田	4	小野地口	1
新道赤磐市役所入口	14	塩木上	4	JA可真支店	1
山陽団地東	13	山陽団地西6番	4	畑	1
桜が丘東5丁目	13	立川	4	山陽北小学校入口	1
多賀上	13	齋富	3	新道沼田	1
野間	13	河田原口	3	殿谷中	1
軽部下	13	日古木・中島口	3	塩木下	1
町苅田下	12	仁堀上	3	出屋上	1
五日市上	12	佐伯北	3	新道穂崎下	1
山陽団地西4番	11	円光寺	3	東3番	1
新道山陽マルナカ前	11	山陽団地西2番	3	稲蒔	1
西軽部	10	寺見団地	3	西7丁目西	1
山方口	10	農試口	3	交流センター	1
馬屋下	9	町苅田中	3	丁切口	1
山陽団地中1番	9	稗田	3	新道立川口	1
山陽団地西5番	9	西窪田	3	多賀下	1
正崎	9	弥上	3	由津里	1
赤磐市役所前	8	英国庭園前	3	南方	1
桜が丘西10丁目西	8	出屋	3	河本南	1
赤坂中学校前	8	西山団地東	3	蒲共撰場	1
周匝上	8	可真上集会所	3	惣分	1
桜が丘西9丁目西	7	三支部共同作業場	3	東5番	1
高屋上	7	西中集会所	3	東円光寺	1
東窪田	7	坂辺上	2	西山公民館	1
高屋	7	ノアスギモト	2	山陽団地西1番	1
りゅう王	6	東1丁目南	2	東2丁目西	1
桜が丘西3丁目上	6	マルナカ	2	新田橋	1

無回答、知らない、わからない
429件

(12) 最寄りのバス停までの距離

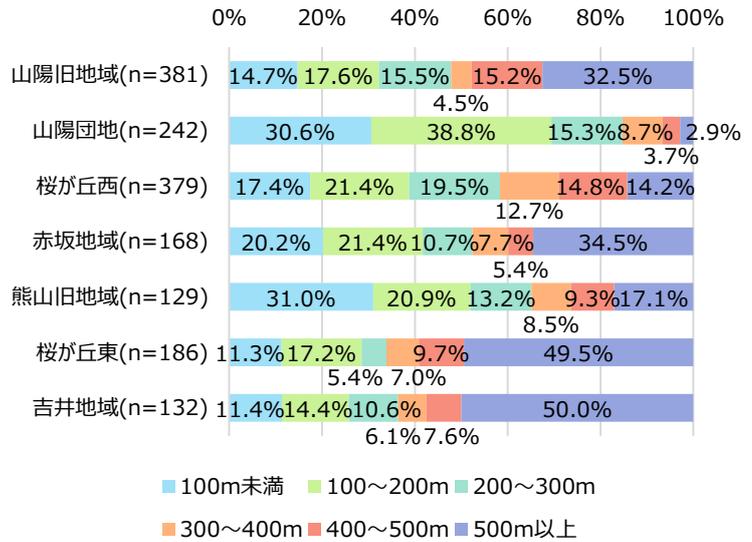


74.0%が最寄りのバス停まで 500m 以内。

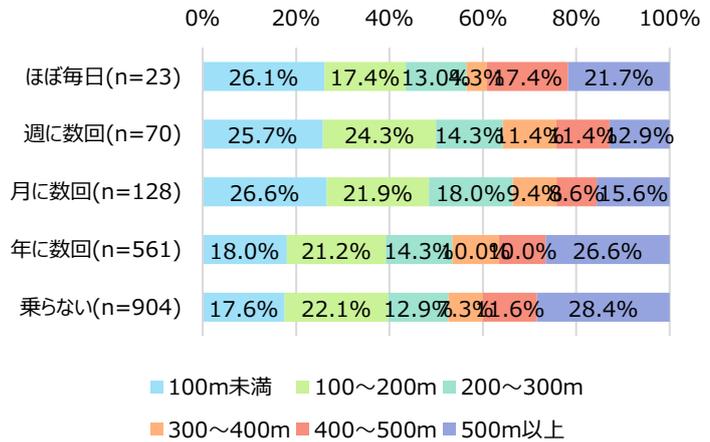
居住地別にみると、山陽団地は 97.1%、桜が丘西は 85.8%、熊山旧地域は 82.9%が最寄りのバス停まで 500m 以内。

バスの利用頻度別にみると、最寄りバス停までの距離によってバスの利用頻度に差はみられない。

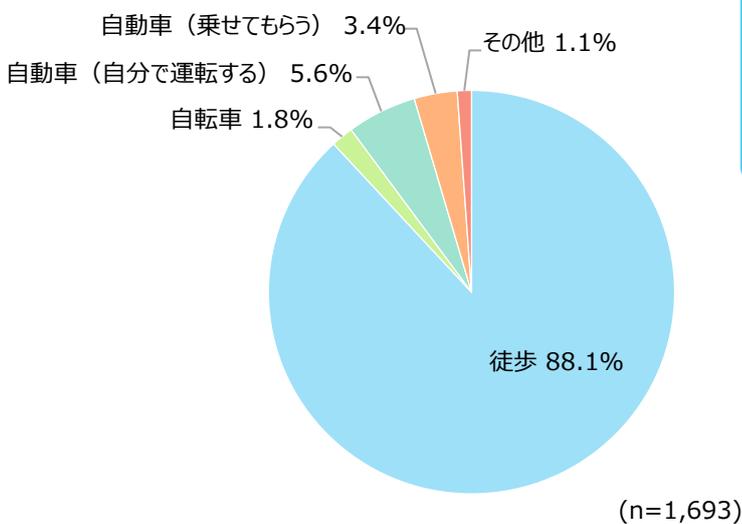
【居住地別】



【バスの利用頻度別】

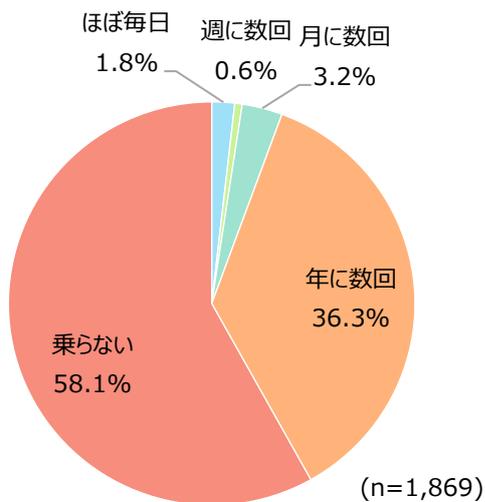


(13) バス停までの移動手段

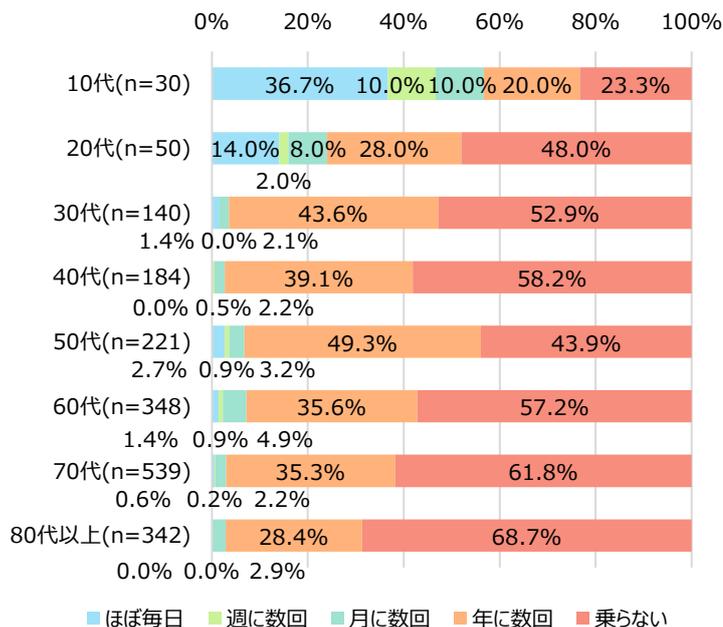


徒歩が 88.1%と最も多い。自動車(自分で運転)でバス停まで行きバスへ乗り換えるパーク＆ライドをする方は 5.6%。

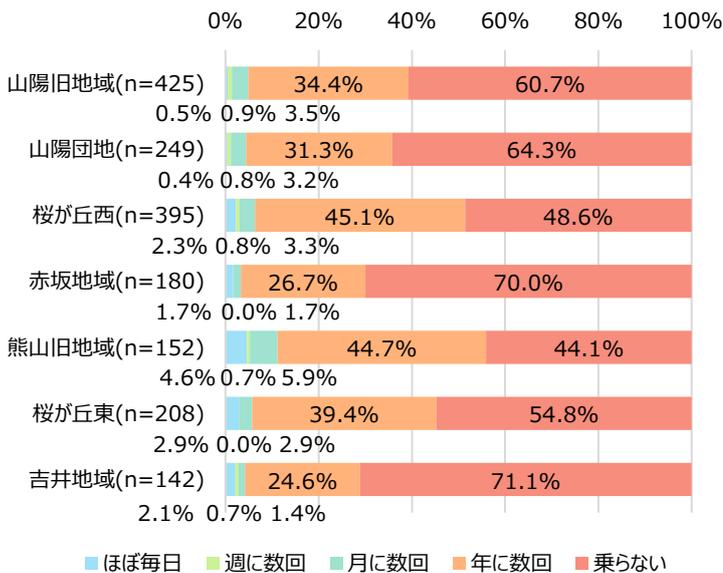
(14) 鉄道の利用頻度



【年代別】



【居住地別】



「乗らない」が58.1%と最も多い。月に数回以上鉄道を利用している方は5.6%。
 年代別に見ると、10代は5割以上、20代は2割以上が月に数回以上鉄道を利用している。
 居住地別に見ると、熊山旧地域では1割以上が月に数回以上鉄道を利用しており、他地域よりも利用率が高い。

(15) 自宅近くの最も利用する鉄道駅

駅名	実数
瀬戸駅	857
熊山駅	161
岡山駅	132
万富駅	81
和気駅	46
東岡山駅	15
上道駅	8
玉柏駅	4
金川駅	2
津山駅	1
西川原駅	1

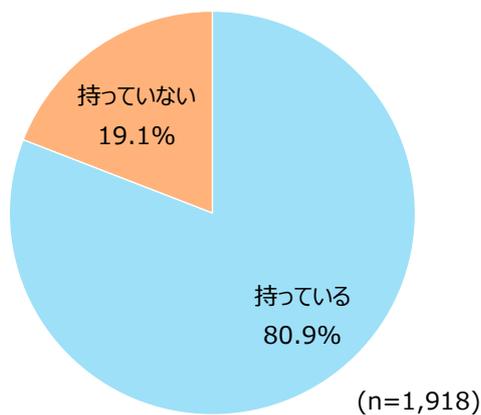
【居住地別】

	山陽 旧地域	山陽 団地	桜が丘 西	赤坂 地域	熊山 旧地域	桜が丘 東	吉井 地域
瀬戸駅	270	95	255	96	1	70	9
熊山駅	1	1	8	7	120	17	4
岡山駅	24	51	27	10		4	8
万富駅			18	1	13	45	1
和気駅			1		1	1	42
東岡山駅	7	7		1			
上道駅	2	4	1			1	
玉柏駅	3	1					
金川駅							2
津山駅							1
西川原駅			1				

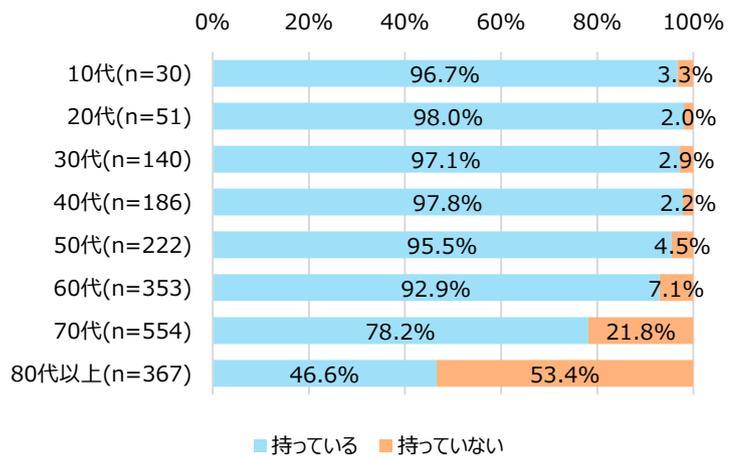
瀬戸駅が最も多く、次いで多いのは熊山駅。

居住地別にみると、山陽旧地域、山陽団地、桜が丘西、赤坂地域、桜が丘東は瀬戸駅、熊山旧地域は熊山駅、吉井地域は和気駅が最も多い。

(16) スマートフォン保有状況



【年代別】



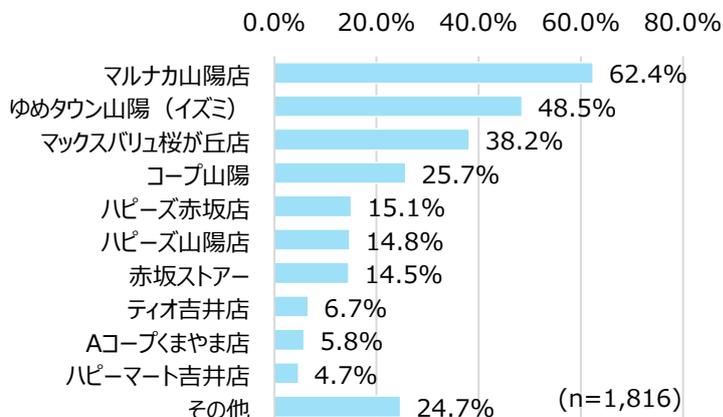
「持っている」が80.9%。

年代別に見ると、60代以下は9割以上がスマートフォンを保有している。80代以上は5割以上がスマートフォンを保有していない。

2. 日常生活における移動について

(1) 日常的な買い物

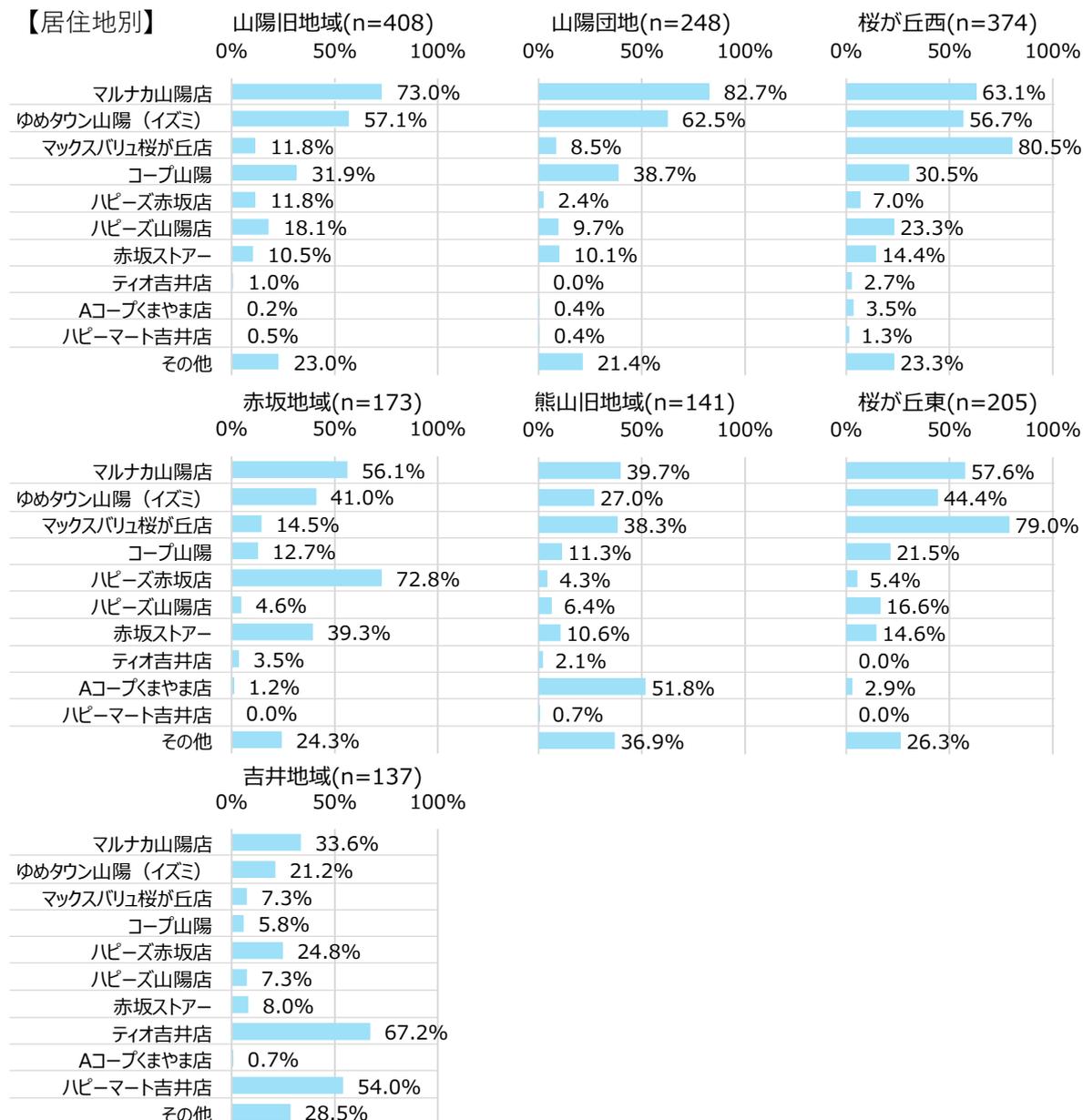
① よく行く買い物先 (複数回答可)



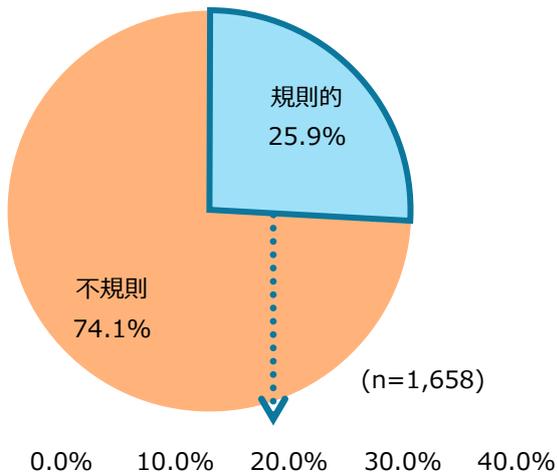
マルナカ山陽店が 64.2% と最も多い。

居住地別にみると、山陽旧地域、山陽団地はマルナカ山陽店、桜が丘西、桜が丘東はマックスバリュ桜が丘店、赤坂地域はハピーズ赤坂店、熊山旧地域は A コープくまやま店、吉井地域はティオ吉井店の利用が最も多い。また、どの地域も 3 割以上の方がマルナカ山陽店を利用している。

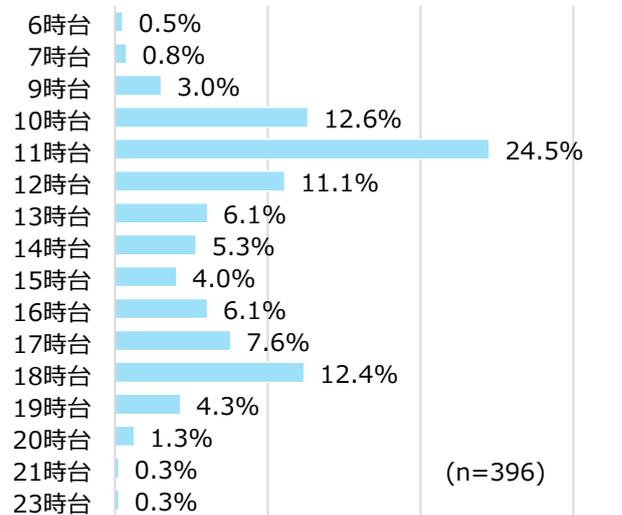
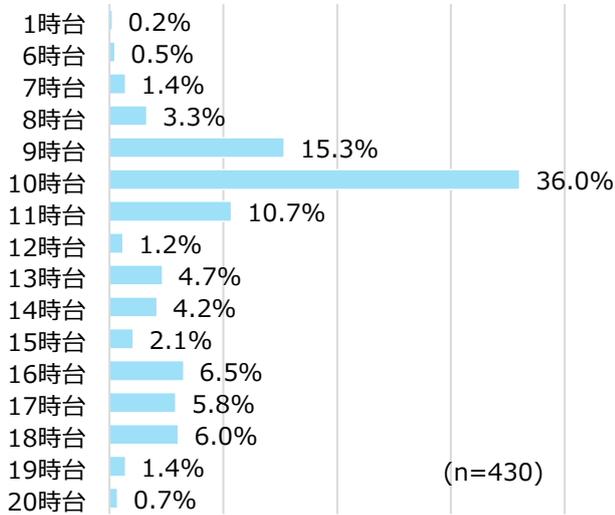
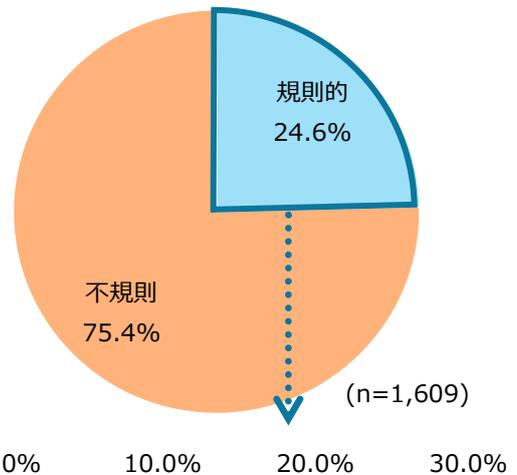
【居住地別】



②時間帯
行き

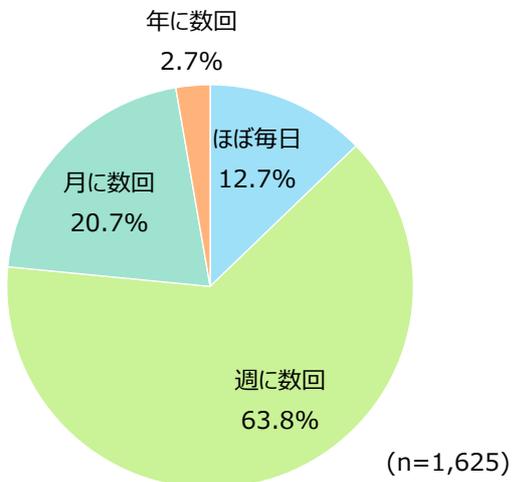


帰り



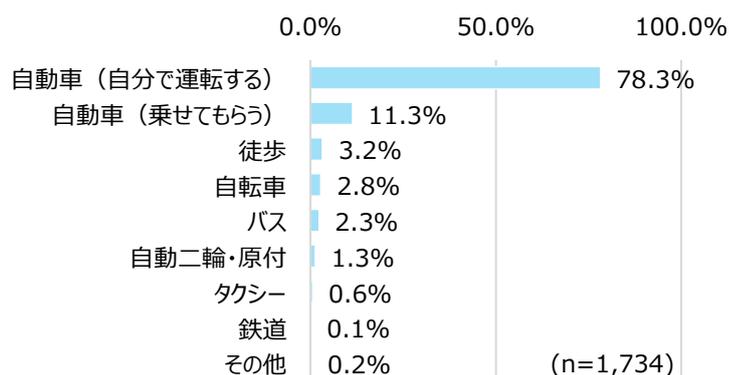
行きも帰りも 25%程度が規則的な時間帯に買い物をされる。
行きは 10 時台、帰りは 11 時台が最も多い。

③頻度



「週に数回」が 63.8%と最も多い。

④主な利用交通手段



「自動車（自分で運転する）」が78.3%と最も多い。

(2) 定期的な通院

①よく行く医療機関（上位20）

赤磐市内 上位20

医療機関名	所在地	実数
赤磐医師会病院	下市	191
うえの内科小児科医院	桜が丘西4丁目	167
ふよう内科クリニック	西中	138
桜が丘クリニック	桜が丘西6丁目	107
あかいわファミリークリニック	河本	95
小坂内科	山陽4丁目	84
熊山診療所	松木	77
さくら整形クリニック	桜が丘東4丁目	75
那須眼科	下市	65
越宗医院	西窪田	54
赤磐皮膚科形成外科	日古木	43
マスカット整形外科医院	穂崎	43
ますだ眼科クリニック	日古木	41
ひらた整形外科	沼田	38
山陽クリニック	上市	33
吉井医院	山陽1丁目	31
佐伯北診療所	塩木	30
桜が丘歯科医院	桜が丘東2丁目	25
森クリニック	周匝	24
戸川クリニック	西軽部	20

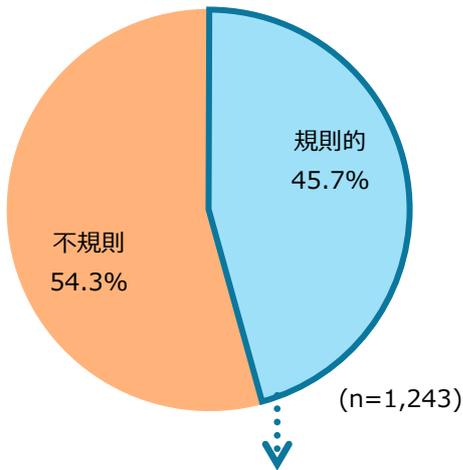
赤磐市外 上位10

医療機関名	所在地	実数
岡山大学病院	岡山市北区	56
岡山済生会病院	岡山市北区	50
国立病院機構 岡山医療センター	岡山市北区	43
岡山東部脳神経外科病院	岡山市北区	35
岡山東部脳神経外科 東備クリニック	岡山市東区	27
小西整形外科	岡山市北区	22
心臓病センター榊原病院	岡山市北区	20
岡山ハートクリニック	岡山市中区	20
吉井外科内科クリニック	岡山市東区	19
平島クリニック	岡山市東区	19
聖眼科クリニック	岡山市東区	18
川崎医科大学総合医療センター	岡山市北区	17
北川病院	和気町	17

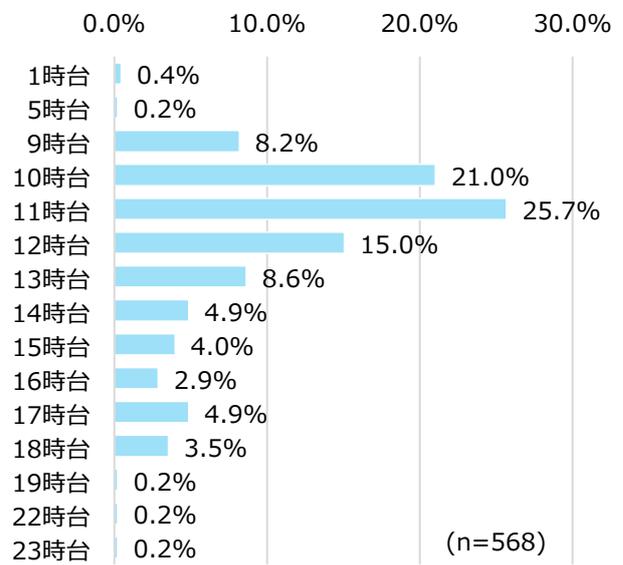
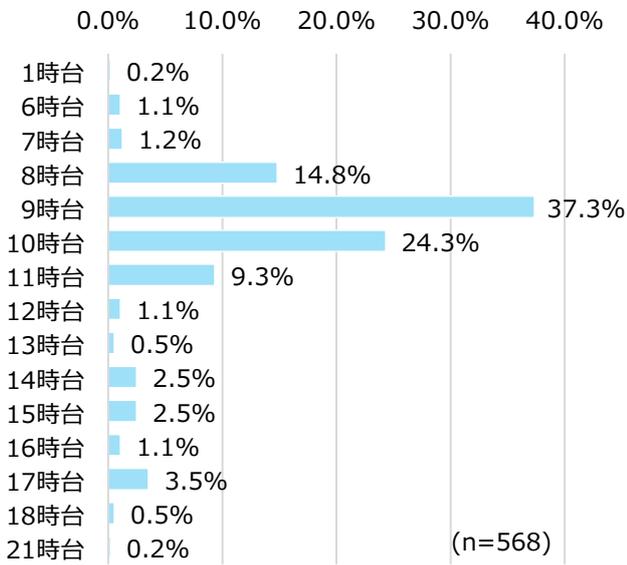
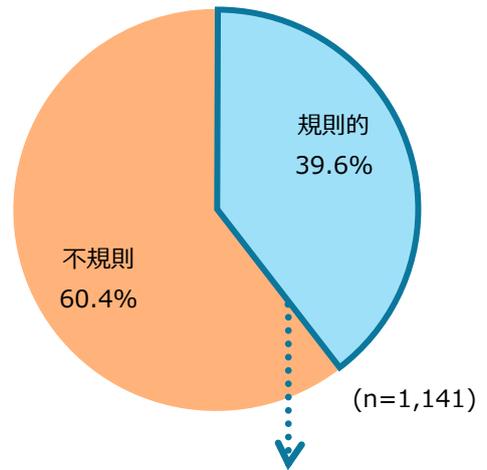
赤磐医師会病院が最も多く、次いでうえの内科小児科医院、ふよう内科クリニックが多い。

居住地	実数
山陽旧地域	48
山陽団地	42
桜が丘西	29
赤坂地域	23
熊山旧地域	6
桜が丘東	19
吉井地域	9

②時間帯
行き

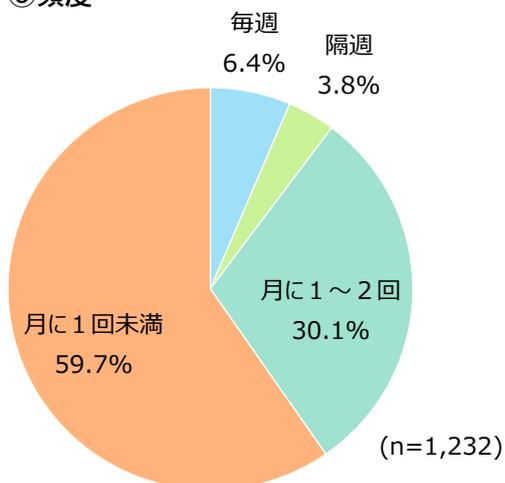


帰り



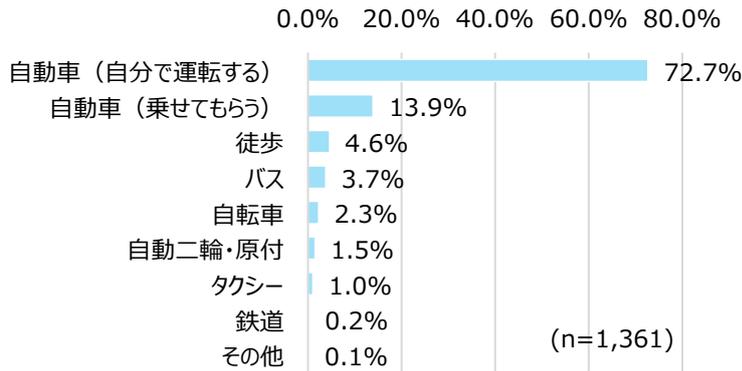
行きは 45.7%、帰りは 39.6%が規則的な時間帯に通院をされる。
行きは 9 時台、帰りは 11 時台が最も多い。

③頻度



「月に1回未満」が 59.7%と最も多く、次いで「月に1~2回」が 30.1%。

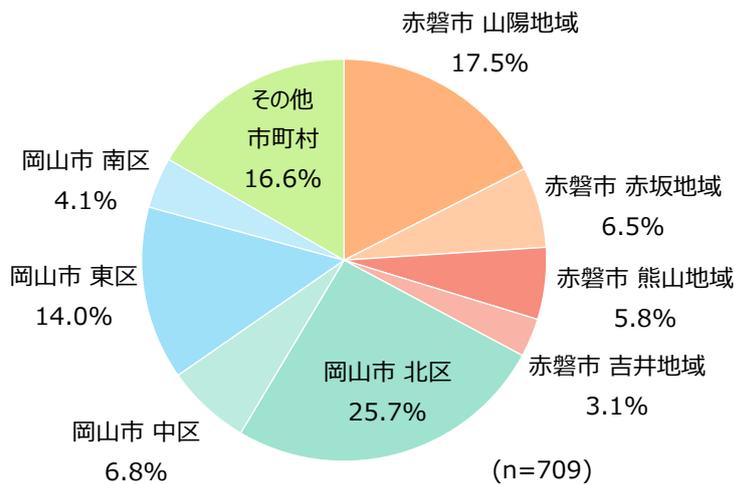
④主な利用交通手段



「自動車（自分で運転する）」が72.7%と最も多い。

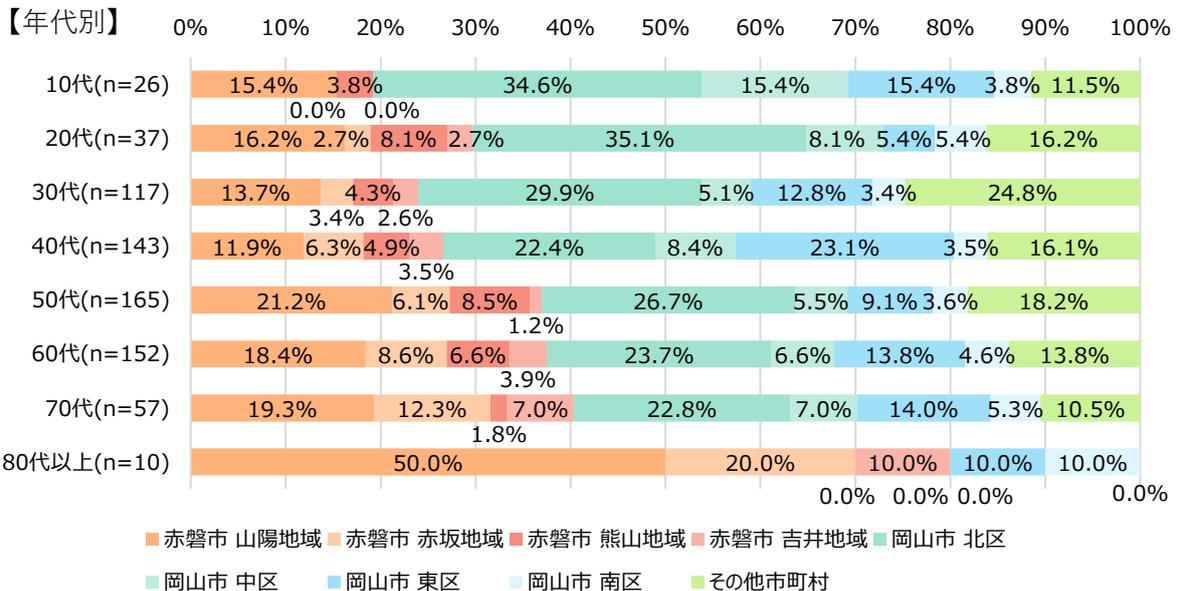
(3) 通勤・通学

①通勤・通学の方面

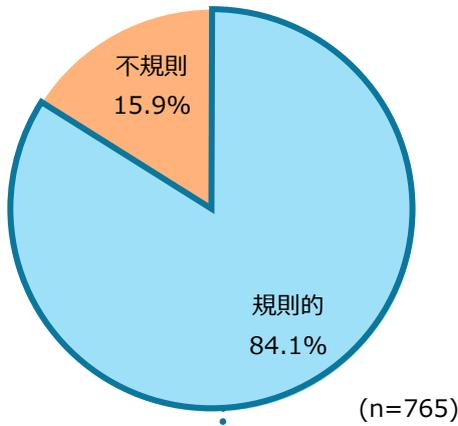


赤磐市内が32.9%、岡山市が50.6%。岡山市北区への通勤・通学が25.7%と最も多い。

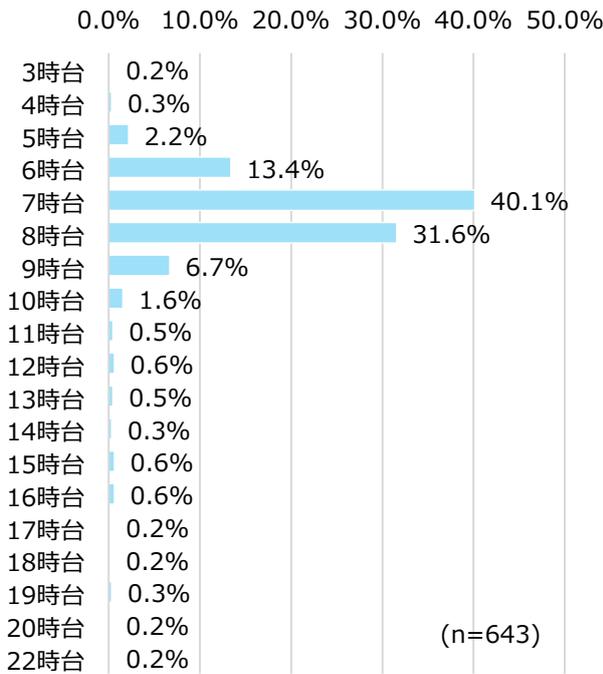
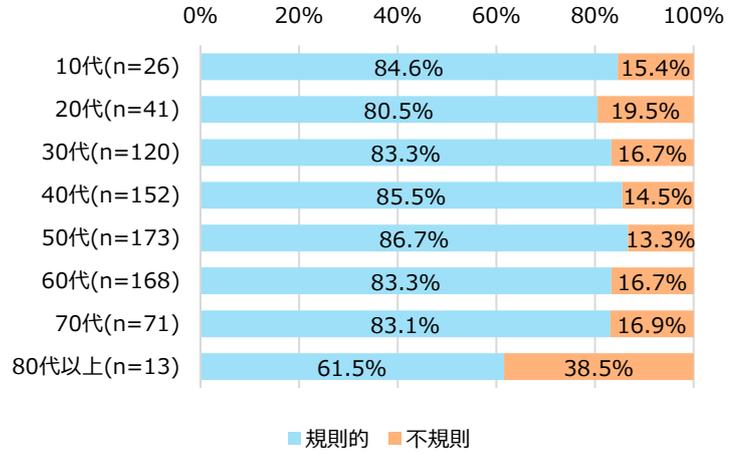
年代別にみると、10代は約7割が岡山市へ通勤・通学している。



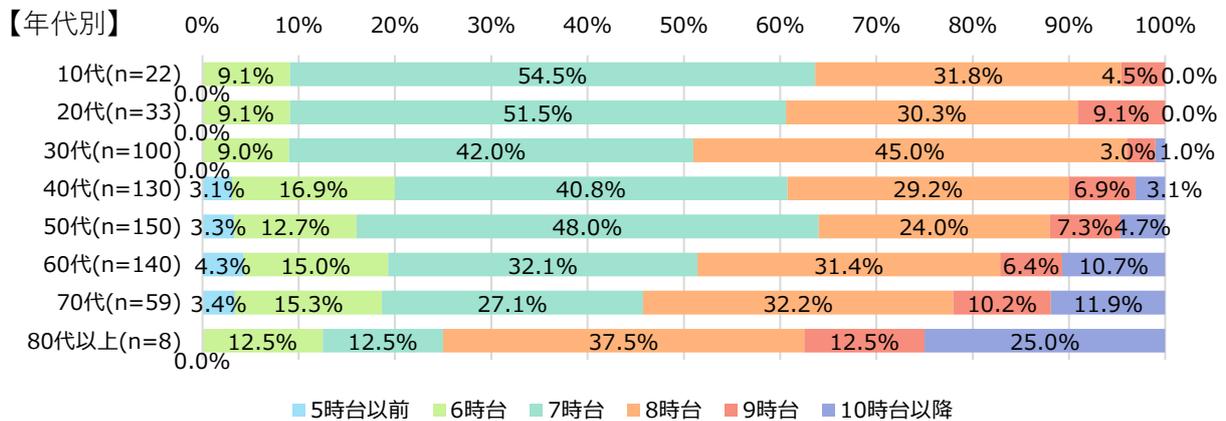
②時間帯
行き



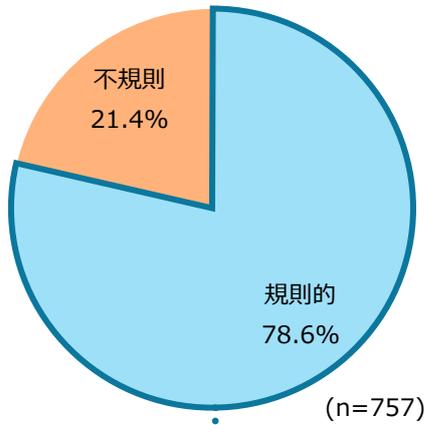
【年代別】



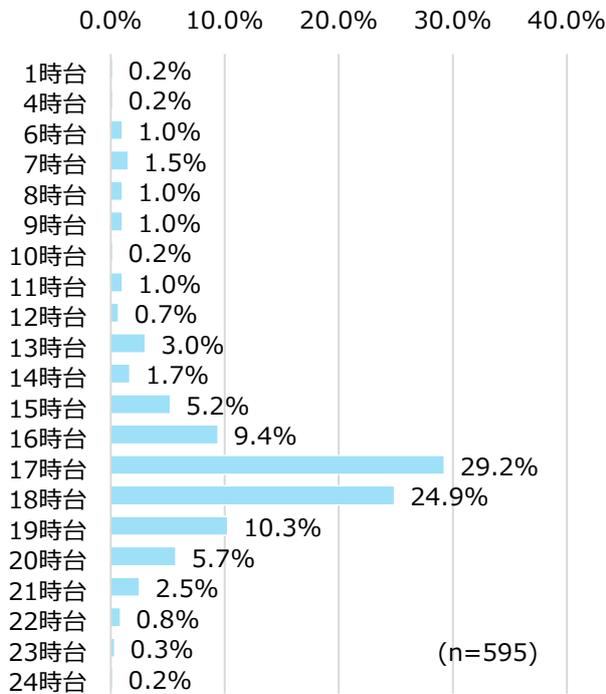
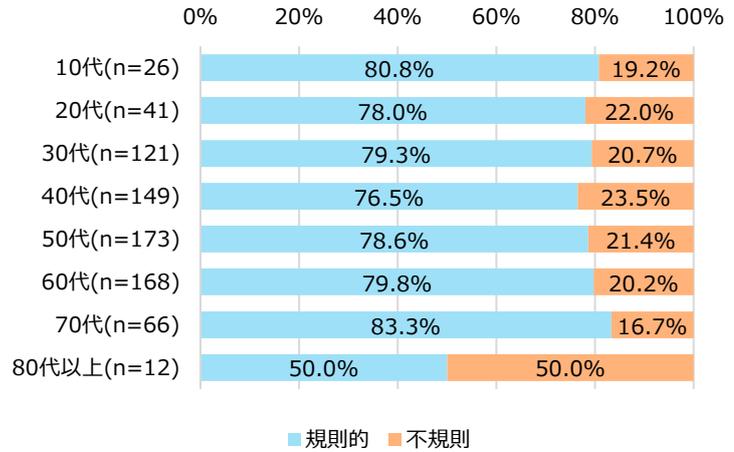
行きは 84.1%が規則的な時間帯に移動される。
7時台の移動が最も多く、年代別にみると、10代、20代は5割以上が7時台の移動。



帰り

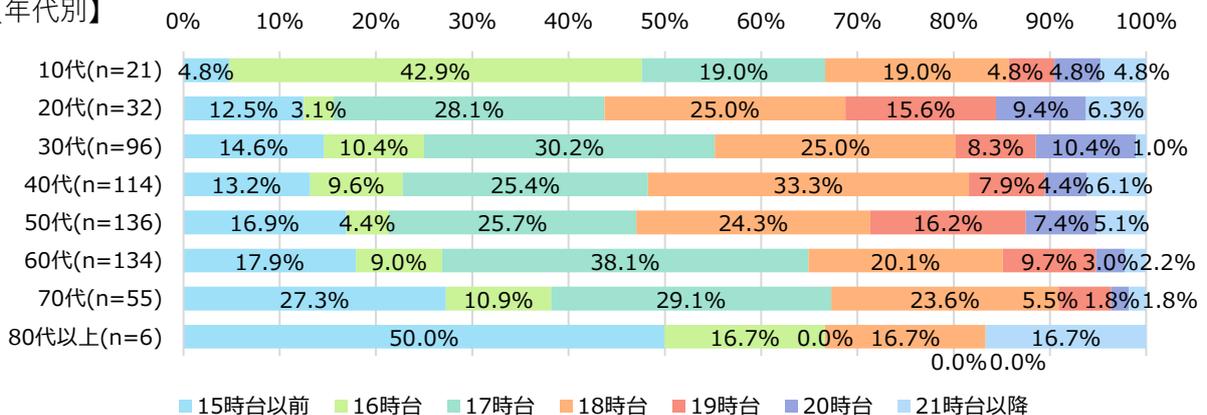


【年代別】

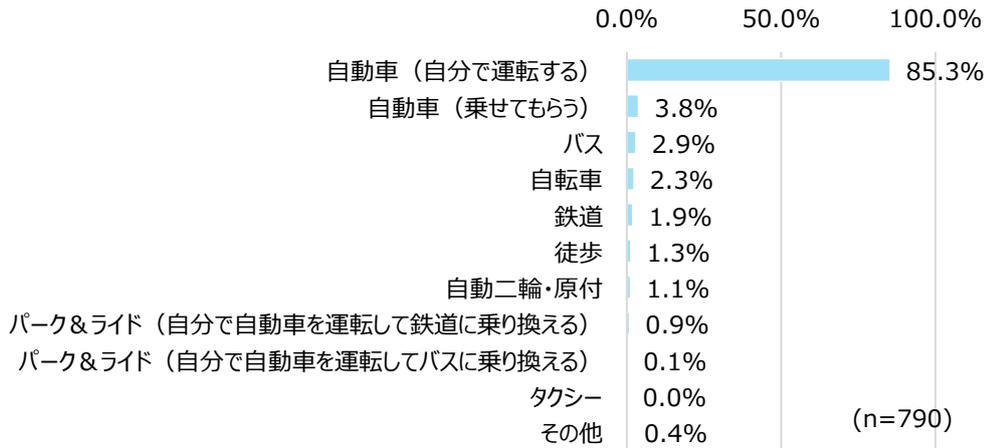


帰りは 78.6%が規則的な時間帯に移動される。
17 時台の移動が最も多い。年代別にみると、10代は約4割が16時台の移動。

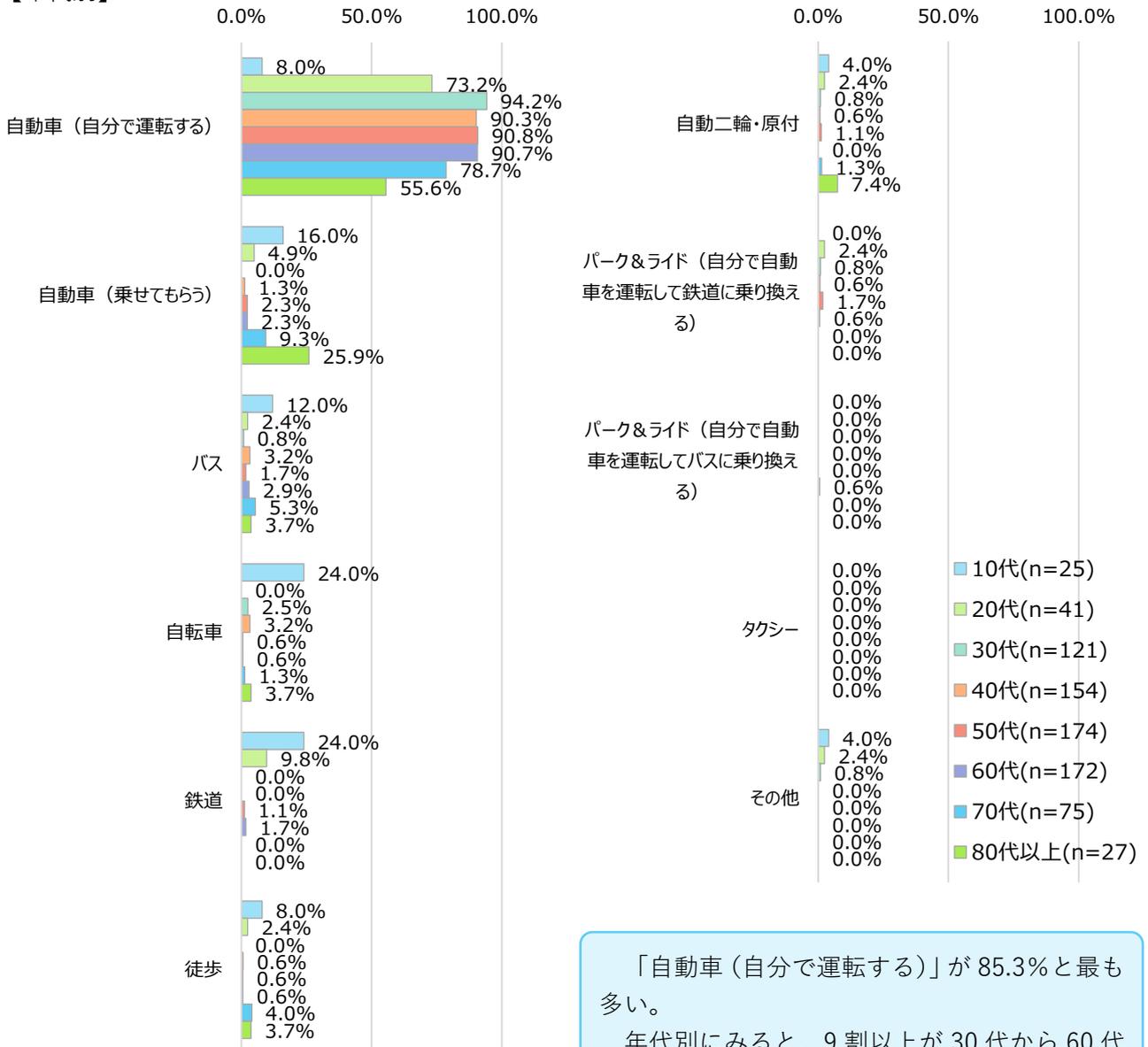
【年代別】



③主な利用交通手段



【年代別】



「自動車（自分で運転する）」が85.3%と最も多い。

年代別にみると、9割以上が30代から60代は「自動車（自分で運転する）」。

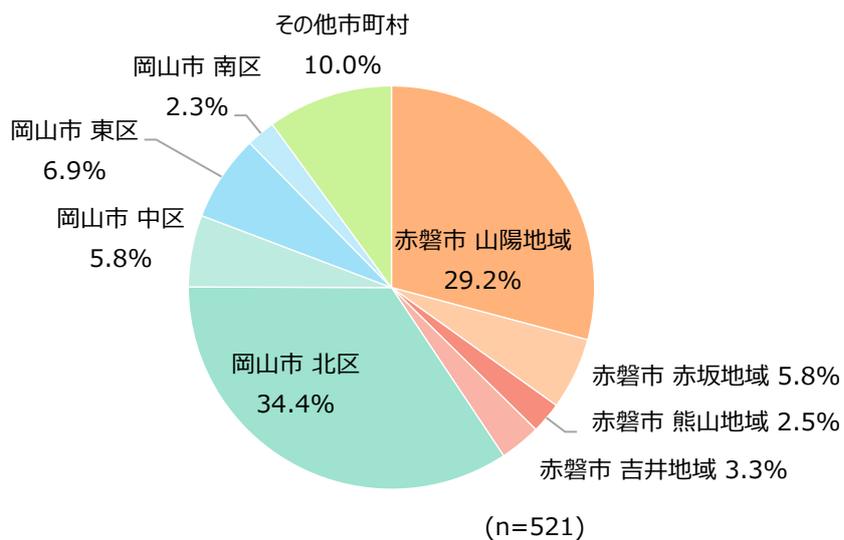
(4) その他の目的での定期的なお出かけ

①お出かけの目的

	実数
買い物・外食等	274
趣味・娯楽等	212
家族関係（家族の送迎、親の手伝い等）	78
仕事等（仕事、パート、アルバイト、畑仕事等）	45
その他	47

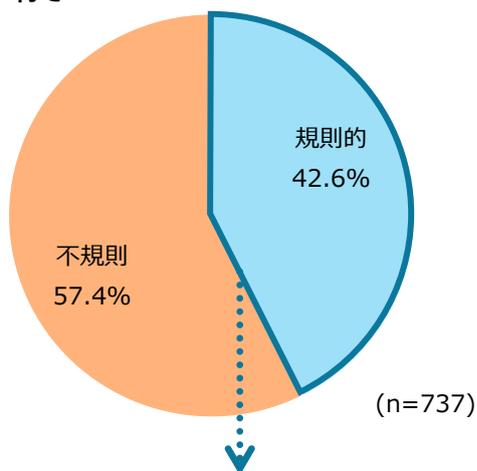
買い物、外食、趣味、娯楽といった目的で定期的なお出かけをされている方が多い。

②お出かけの方面

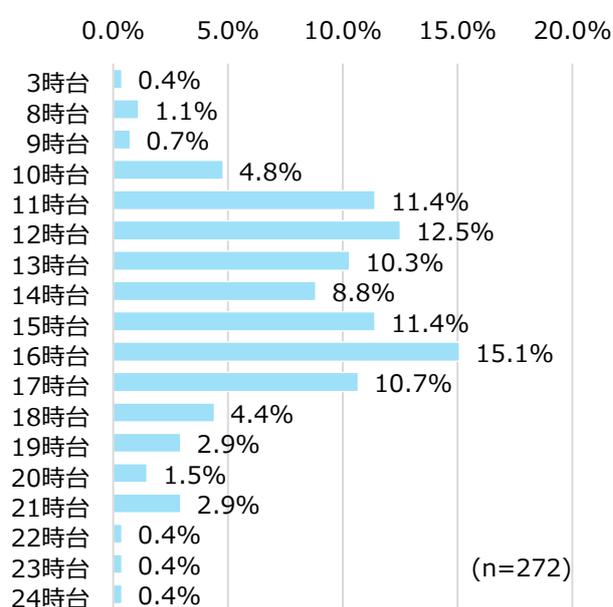
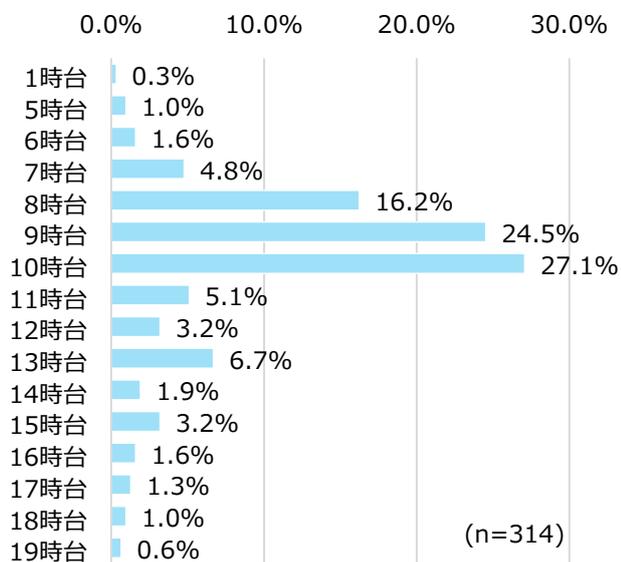
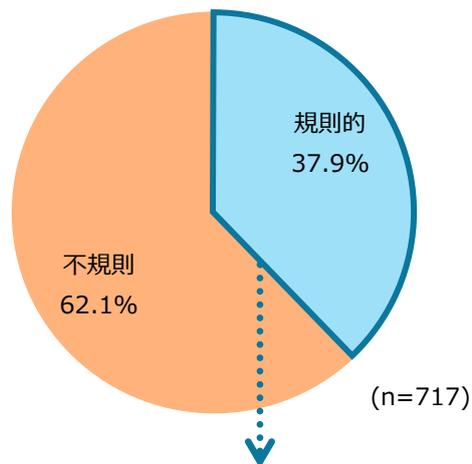


赤磐市内が 40.8%、岡山市が 49.4%。岡山市北区へのお出かけが 34.4%と最も多い。

③時間帯
行き

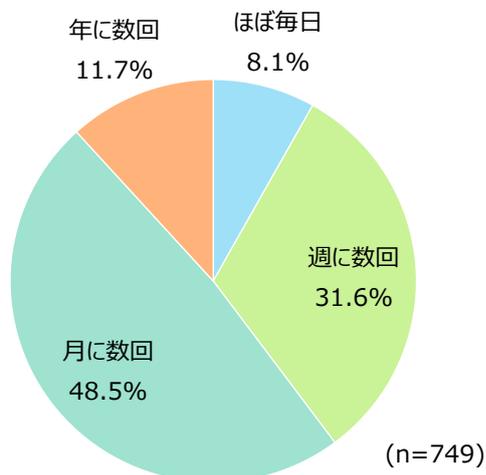


帰り



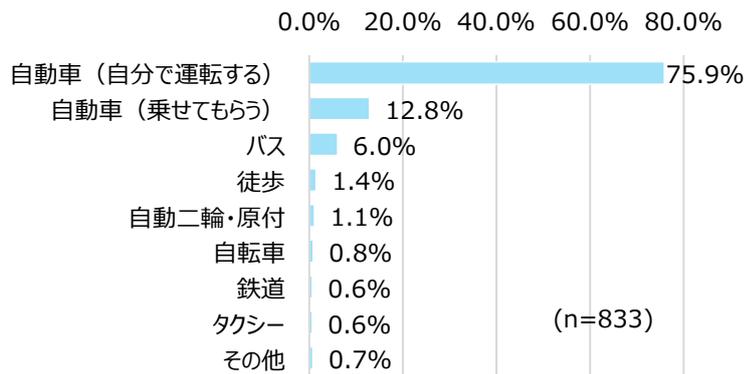
行きは 42.6%、帰りは 37.9%が規則的な時間帯にお出かけをされる。
行きは 10 時台が最も多い。帰りの時間帯は 11~17 時にばらついている。

④頻度



「月に数回」が 48.5%と最も多い。

⑤主な利用交通手段

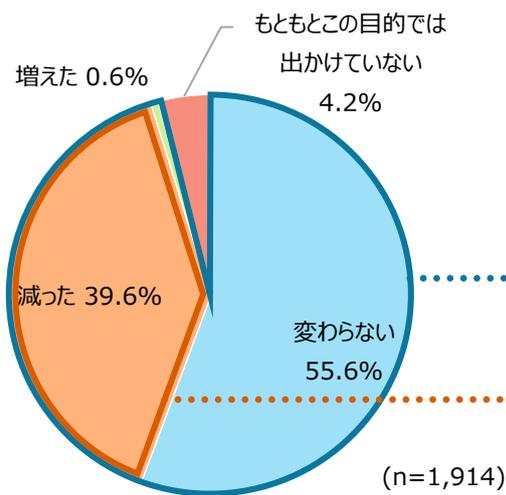


「自動車（自分で運転する）」が75.9%と最も多い。

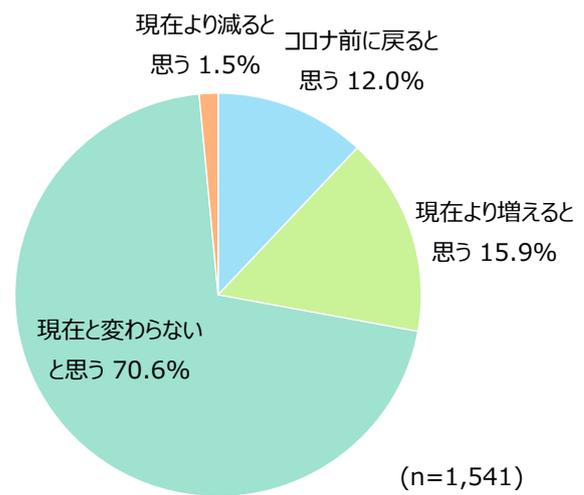
(5) コロナ禍前後での移動頻度の変化

①日常的な買い物

コロナ前と比べて

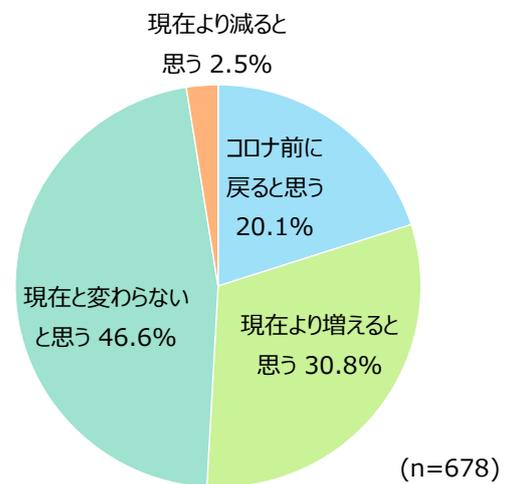


コロナ禍が明けたら

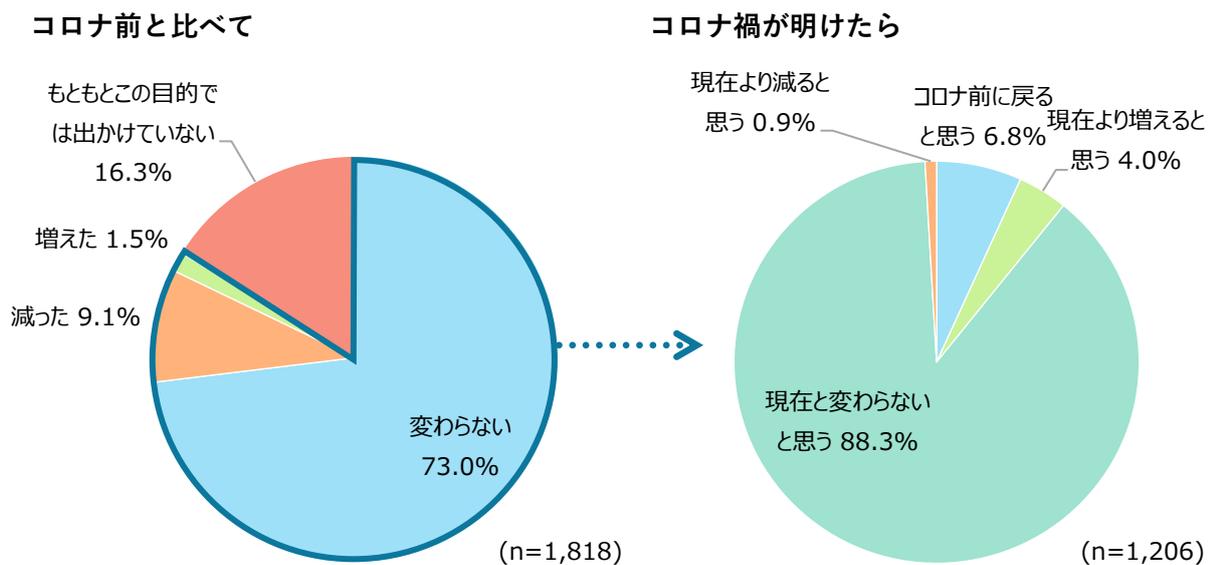


コロナ前と比べて「減った」が39.6%。
 コロナ前と比べて減った方のうち、約半数はコロナ禍後「コロナ前に戻ると思う」または「現在より増えると思う」と回答。

【コロナ前と比べて減った方】

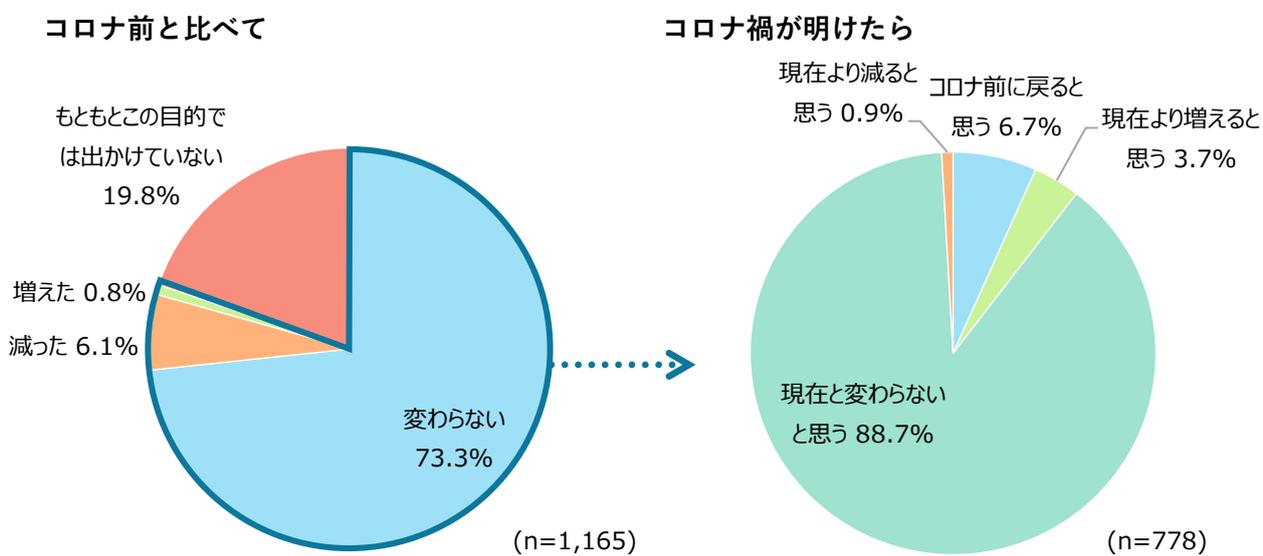


② 定期的な通院



コロナ前と比べて「減った」が9.1%。

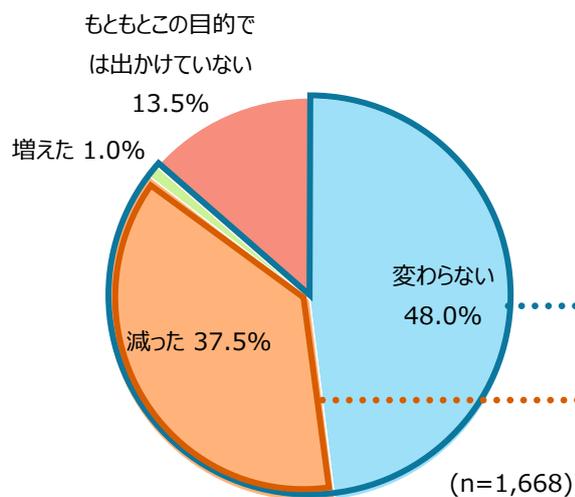
③ 通勤



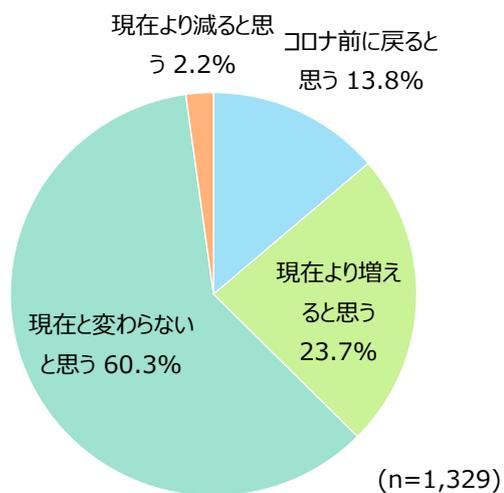
コロナ前と比べて「減った」が6.1%。

④その他の目的での定期的なお出かけ

コロナ前と比べて

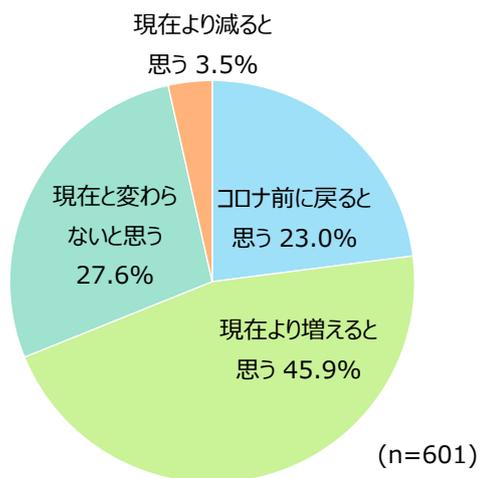


コロナ禍が明けたら



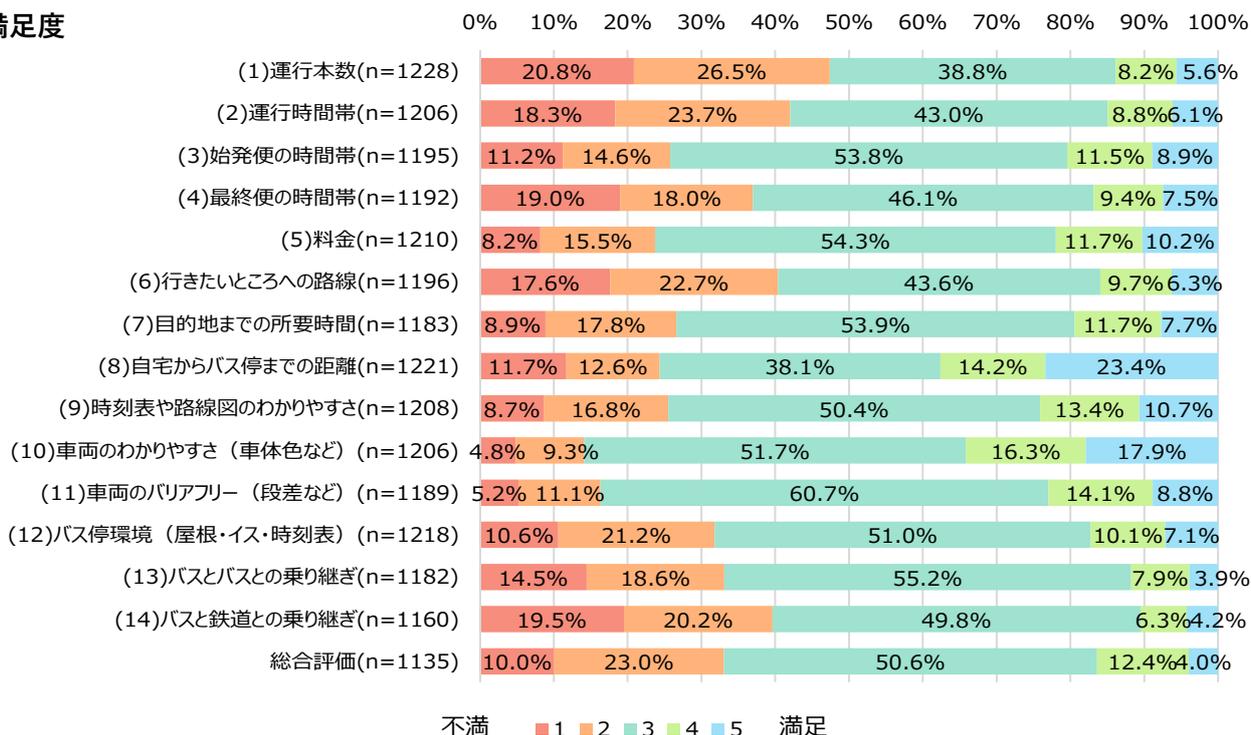
コロナ前と比べて「減った」が37.5%。
 コロナ前と比べて減った方のうち、約7割はコロナ禍後「コロナ前に戻ると思う」または「現在より増えると思う」と回答。

【コロナ前と比べて減った方】



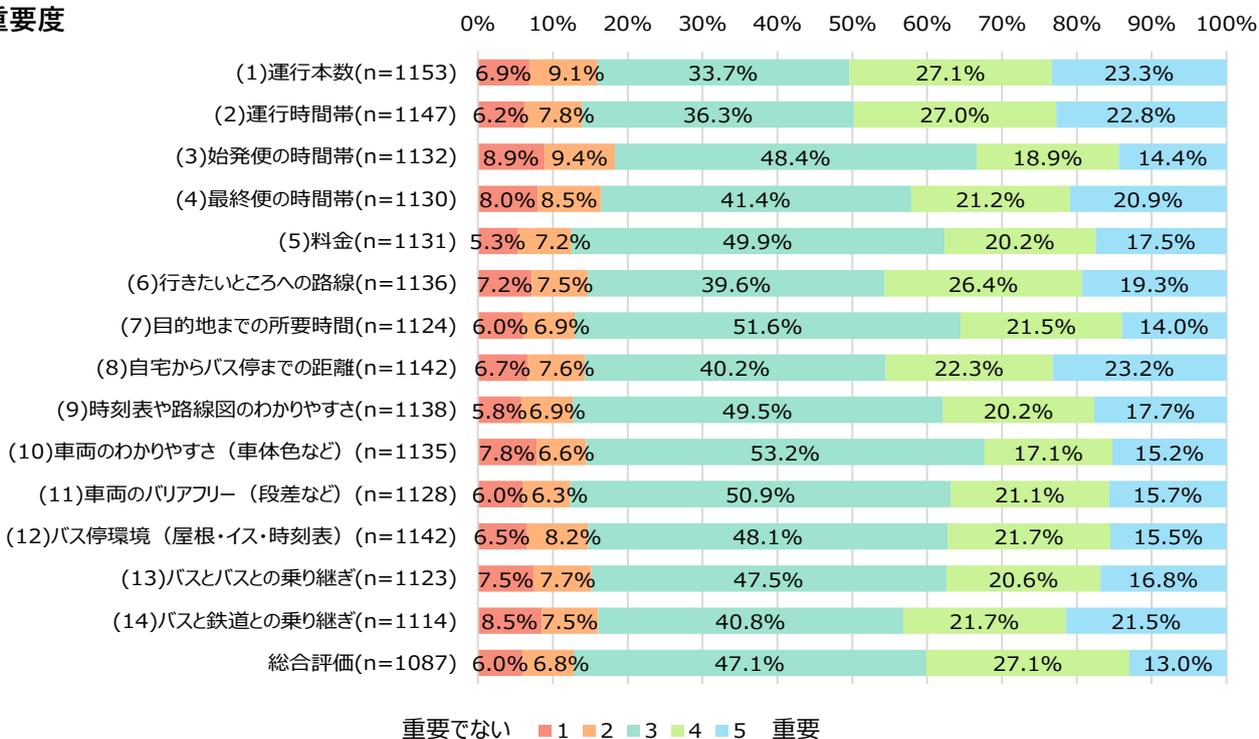
3. バスの満足度・重要度について

満足度



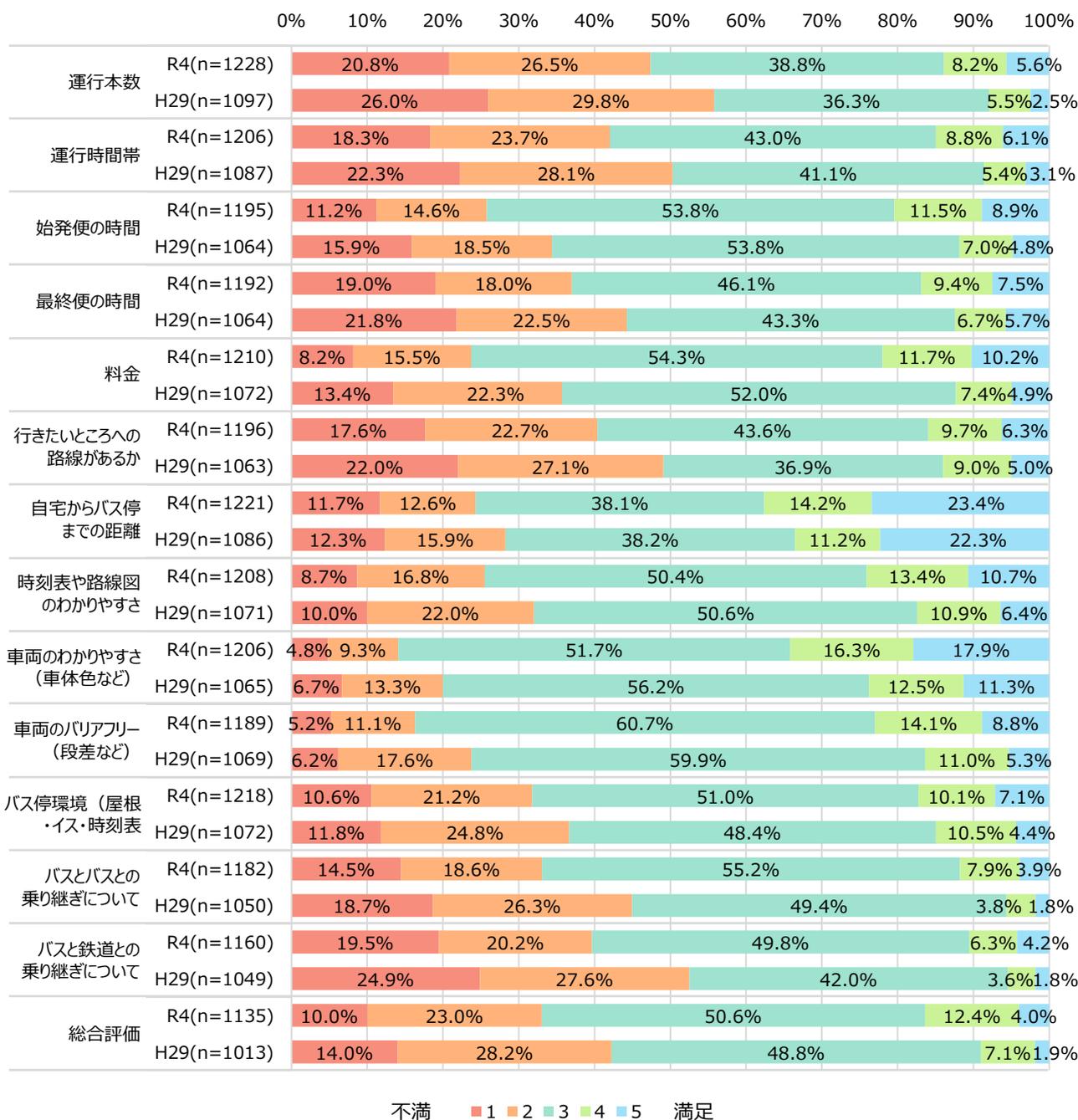
「自宅からバス停までの距離」、「車両のわかりやすさ(車体色など)」の満足度が高い。一方で、「運行本数」、「運行時間帯」の満足度が低い。

重要度



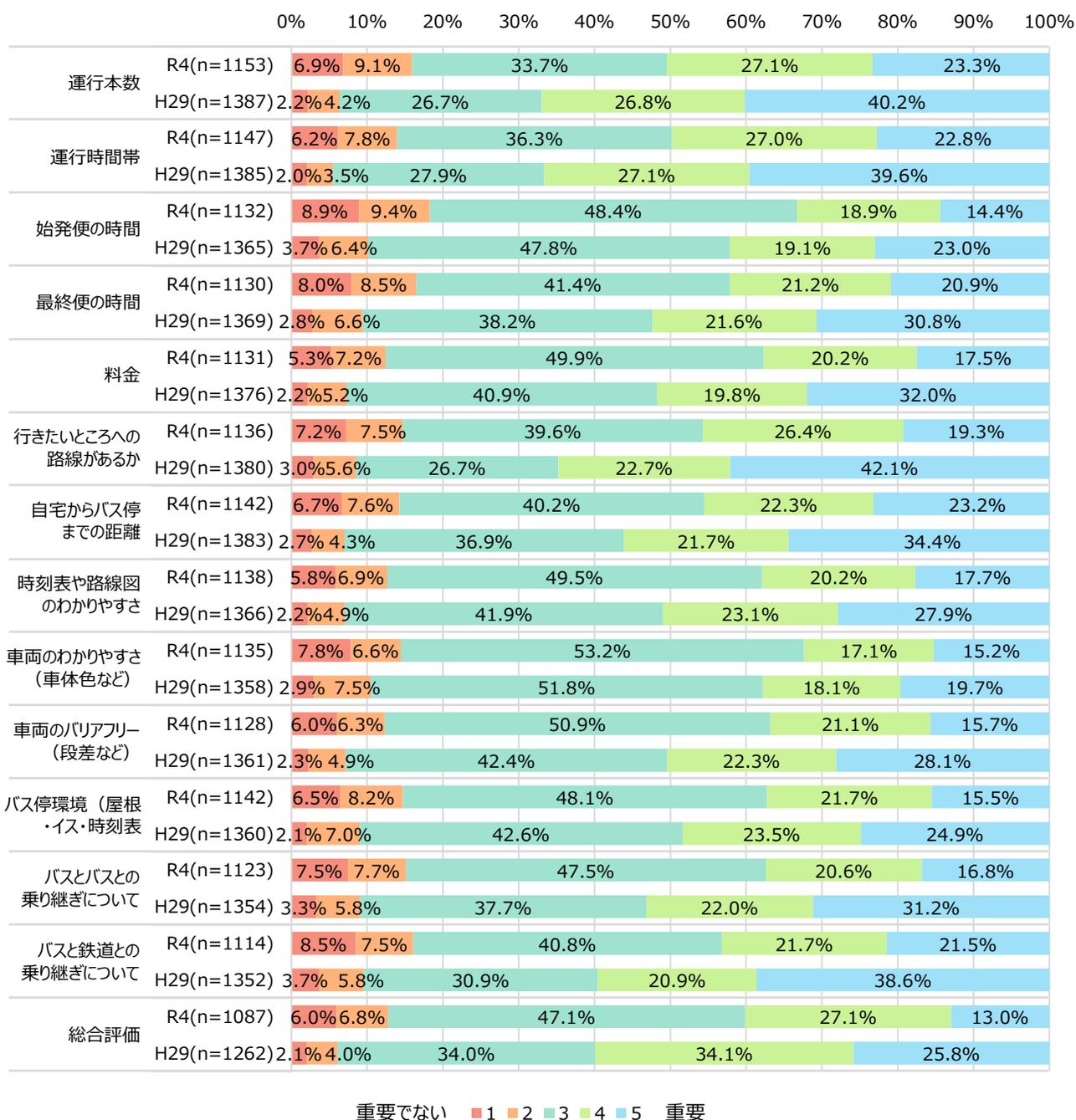
「運行本数」、「運行時間帯」の重要度が高い。

満足度【H29 調査との比較】



H29 調査と比較すると、すべての項目で満足度が上がっている。

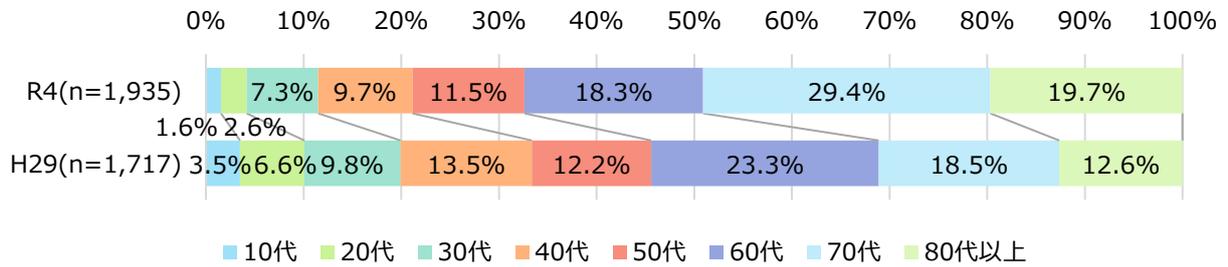
重要度【H29 調査との比較】



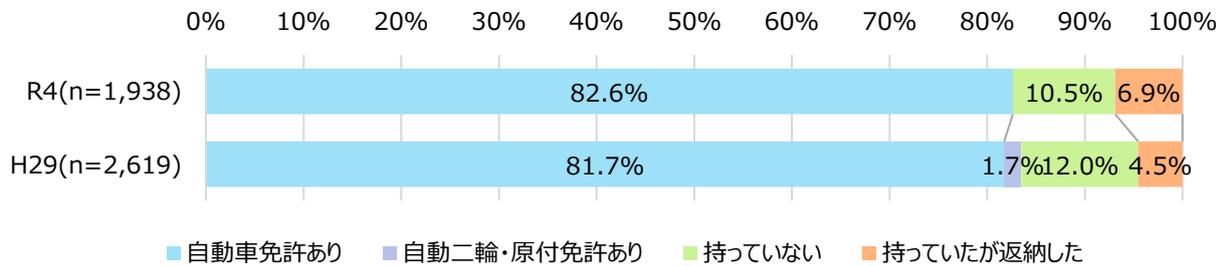
H29 調査と比較すると、すべての項目で重要度が下がっている。

参考：今回調査と H29 調査の回答者属性の比較

<年代>

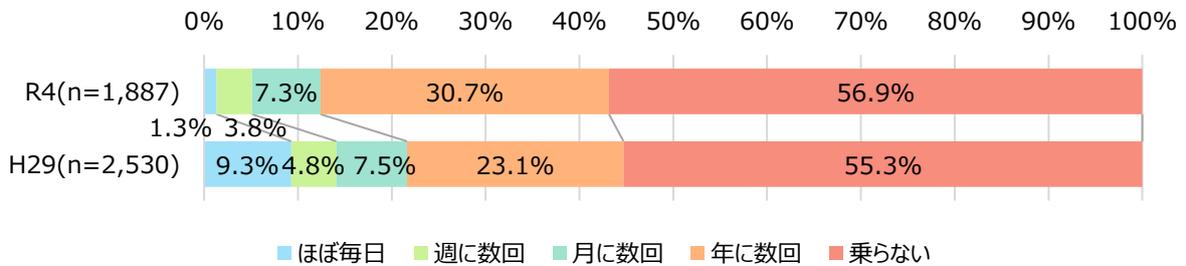


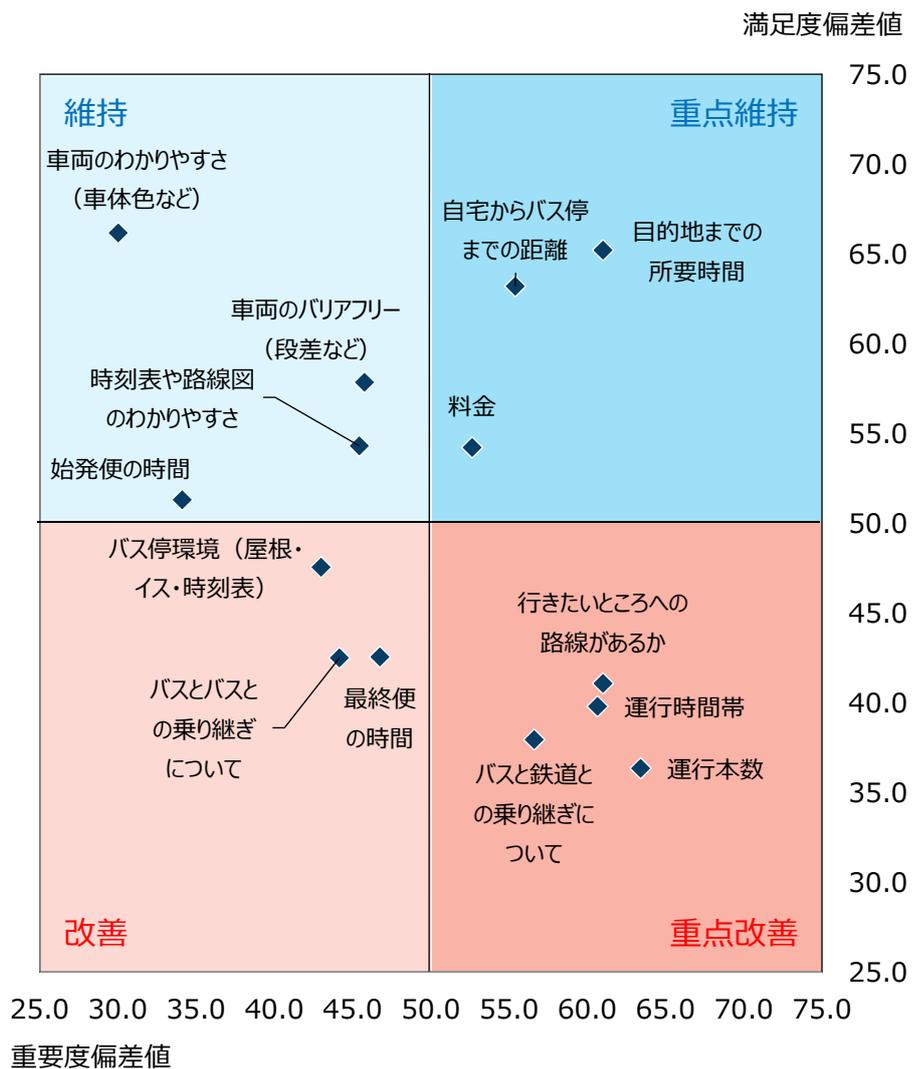
<運転免許の有無>



※今回調査は「自動二輪・原付免許」の選択肢なし

<バスの利用頻度>

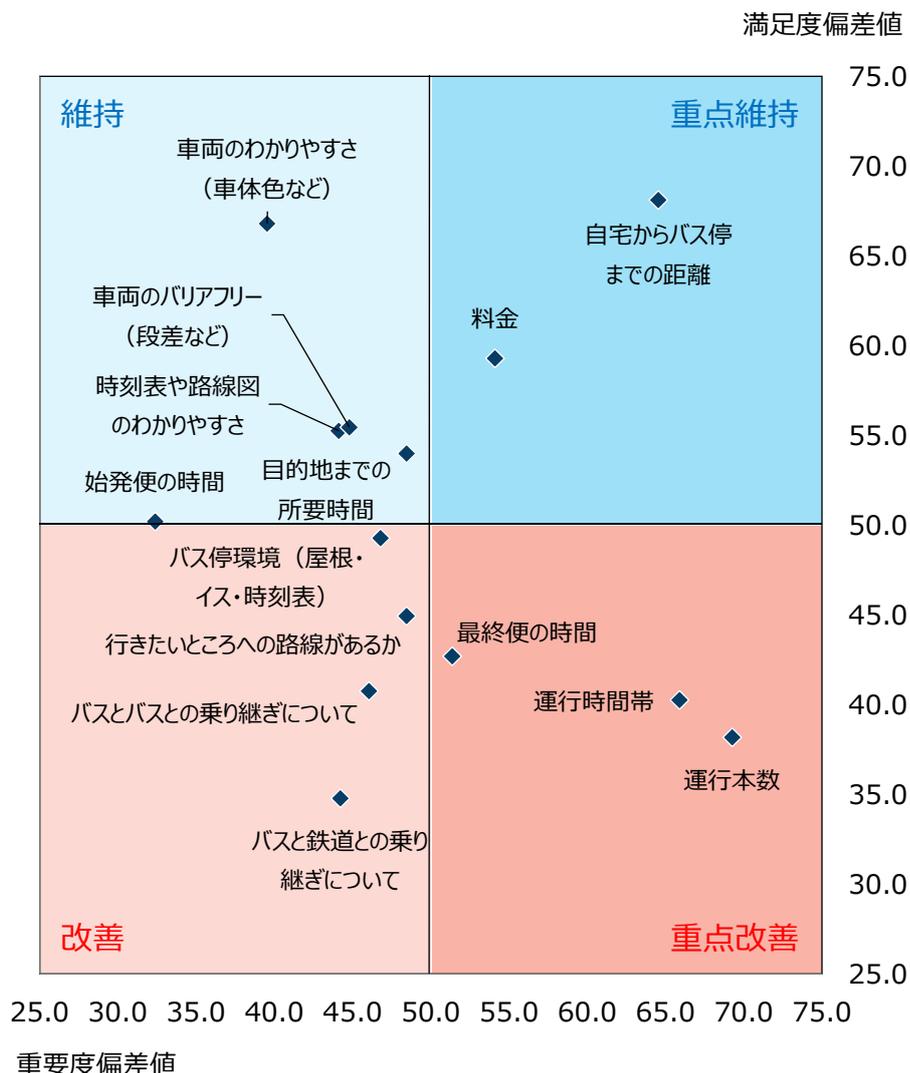




重点改善	市民が重要と感じている項目で、かつ満足度低いため、優先的に改善していく必要がある分野
改善	市民があまり重要と感じていない項目だが、満足度を高めていく必要がある分野
重点維持	市民が重要と感じている項目で、満足度が高いため、政策的な成果が現れている分野であり、重点的に維持していく必要がある分野
維持	市民があまり重要と感じていないが、満足度が高いため、満足度を維持していく必要がある分野

満足度が低く、重要度が高い項目として、「運行本数」、「運行時間帯」、「行きたいところへの路線があるか」、「バスと鉄道との乗り継ぎについて」が挙げられる。

【バスに月数回以上乗る方】

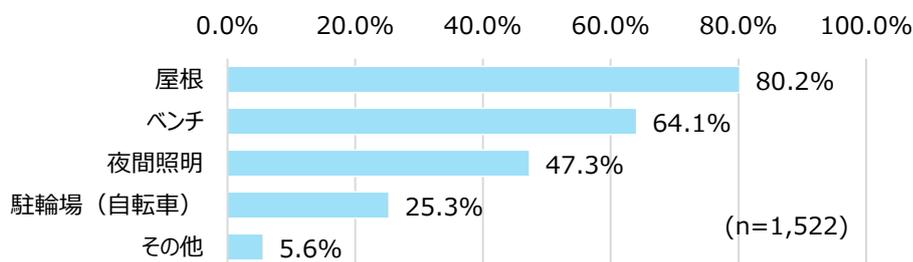


重点改善	市民が重要と感じている項目で、かつ満足度低いため、優先的に改善していく必要がある分野
改善	市民があまり重要と感じていない項目だが、満足度を高めていく必要がある分野
重点維持	市民が重要と感じている項目で、満足度が高いため、政策的な成果が現れている分野であり、重点的に維持していく必要がある分野
維持	市民があまり重要と感じていないが、満足度が高いため、満足度を維持していく必要がある分野

月に数回以上バスを利用する方についてみると、満足度が低く、重要度が高い項目として、「運行本数」、「運行時間帯」、「最終便の時間」が挙げられる。

4. バス停の環境について

バス停にあるといいもの（複数回答可）

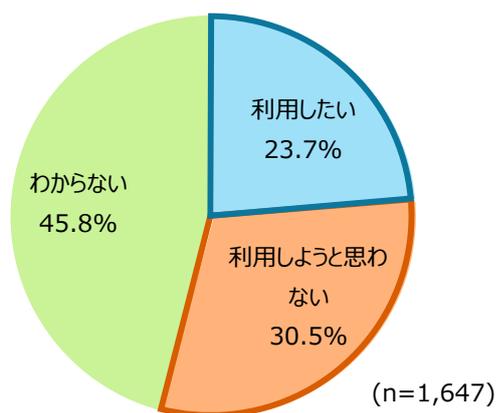


「屋根」が80.2%と最も多く、次いで「ベンチ」が64.1%。

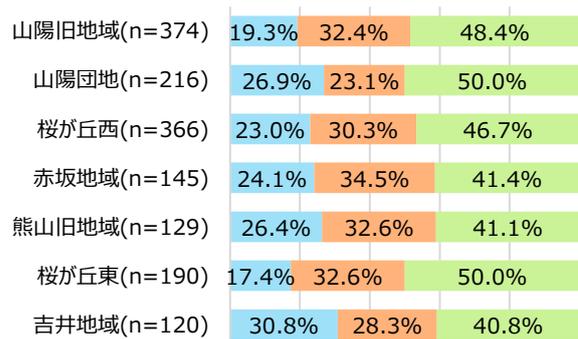
5. 市民バスの新たな取り組みについて

(1) 予約型乗合バス

① 予約型乗合バスの利用意向

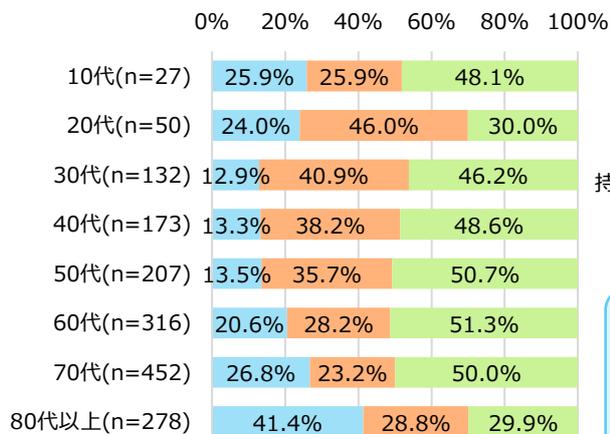


【居住地別】



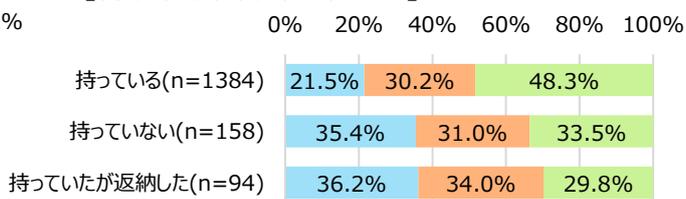
■ 利用したい ■ 利用しようと思わない ■ わからない

【年齢別】



■ 利用したい ■ 利用しようと思わない ■ わからない

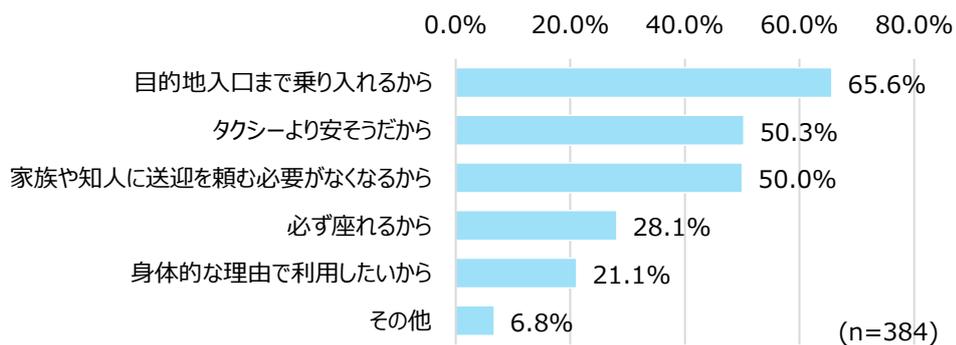
【自動車運転免許の有無別】



■ 利用したい ■ 利用しようと思わない ■ わからない

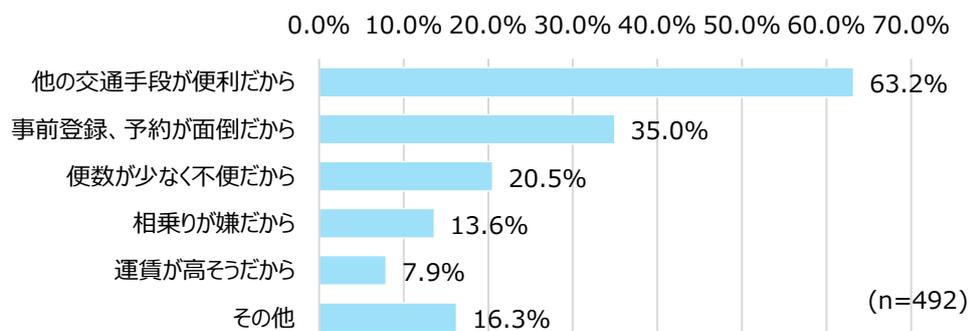
「利用したい」は23.7%。
居住地別では利用意向に差はみられない。
年齢別にみると、80代以上は4割以上が「利用したい」と回答。
自動車運転免許の有無別にみると、持っていない方、返納した方は約3割半ばが「利用したい」と回答。

①-a. 利用したい理由（複数回答可） ※①で「利用したい」と回答した方



「目的地入口まで乗り入れるから」が65.6%と最も多く、次いで「タクシーより安そうだから」が50.3%、「家族や知人に送迎を頼む必要がなくなるから」が50.0%。

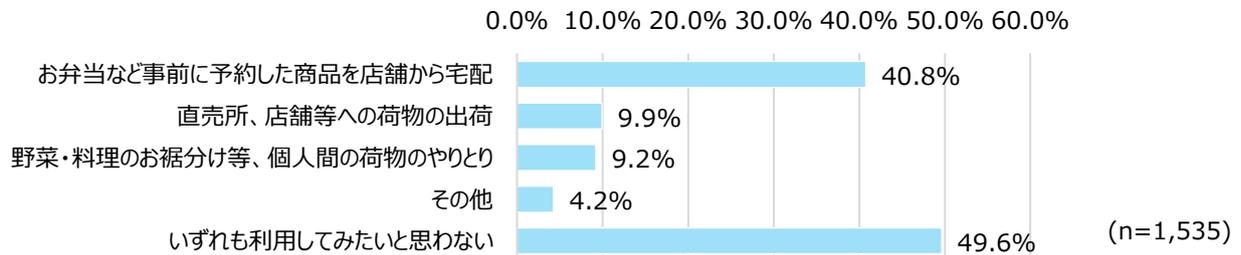
①-b. 利用しようと思わない理由（複数回答可） ※①で「利用しようと思わない」と回答した方



「他の交通手段が便利だから」が63.2%と最も多い。

(2) 貨客混載

利用してみたいと思う使い方（複数回答可）

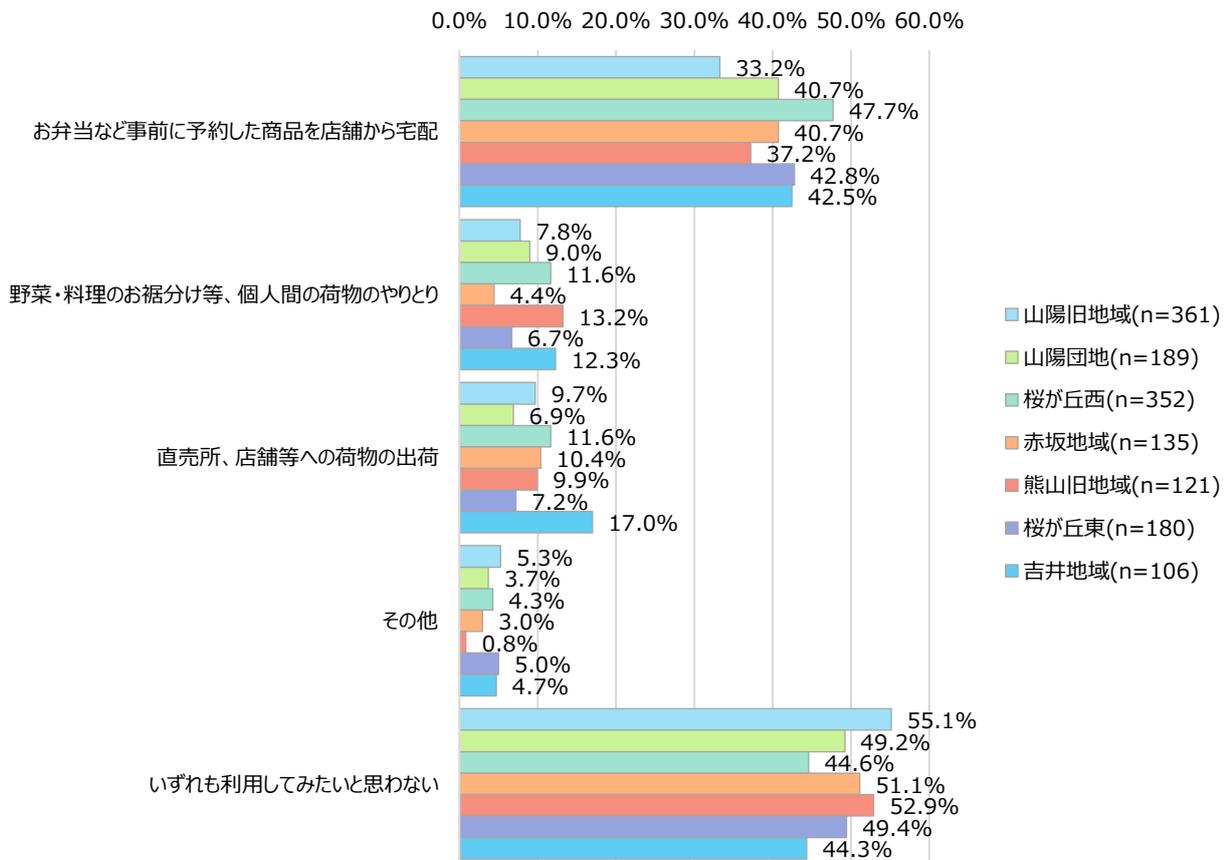


「お弁当など事前に予約した商品を店舗から宅配」が40.8%。また、「いずれも利用してみたいと思わない」が49.6%と最も多い。

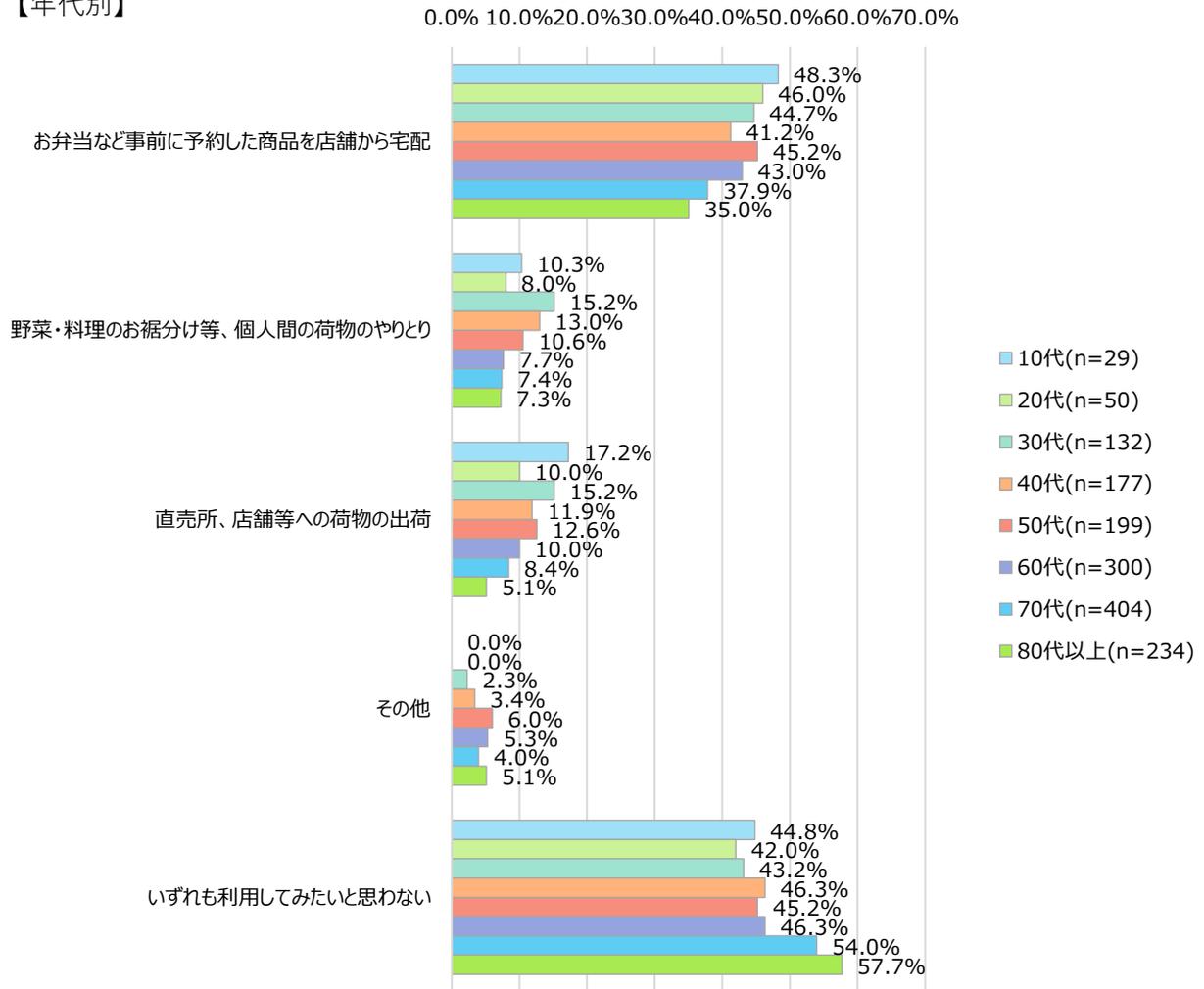
居住地別にみると、「お弁当など事前に予約した商品を店舗から宅配」は桜が丘西で選択率が高い。

年代別にみると、70代、80代以上は「いずれも利用してみたいと思わない」の選択率が高い。

【居住地別】



【年代別】

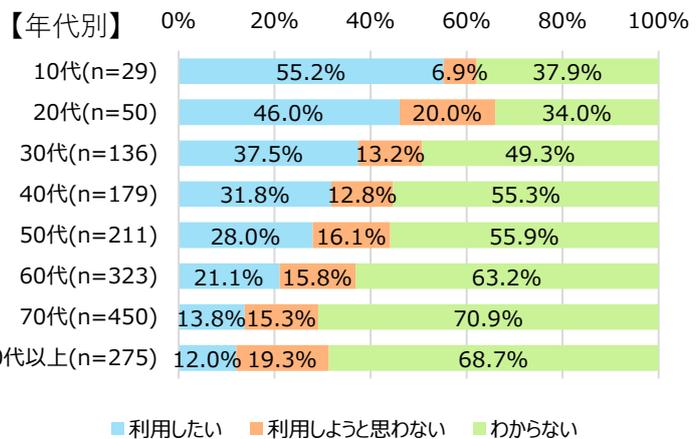


(3) 移動サービスの最適化、予約・決済を一括で行うサービス

利用意向



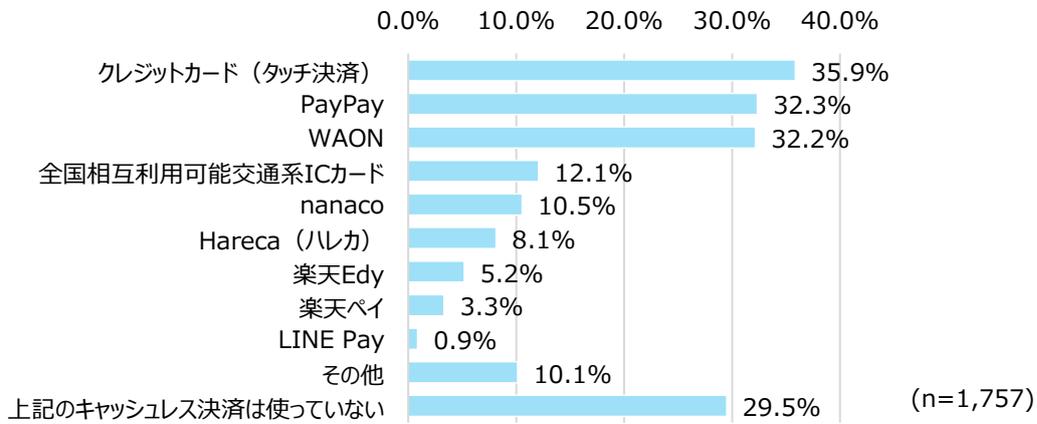
(n=1,666)



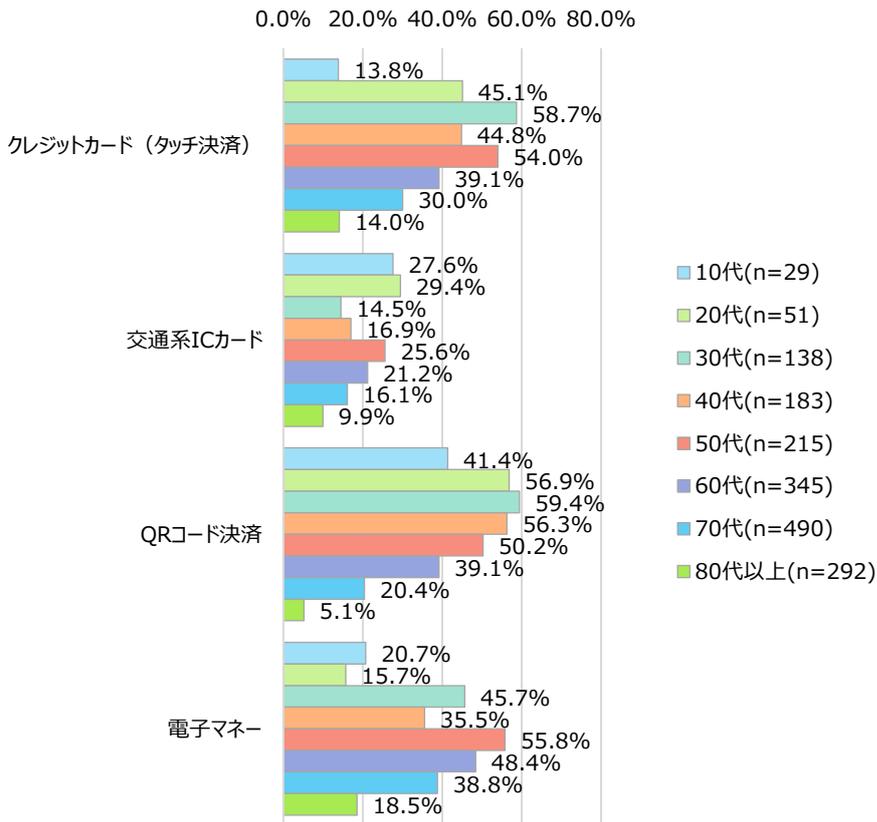
「利用したい」は22.3%。
年代別にみると、年代が低いほど「利用したい」の回答割合が高い。

(4) キャッシュレス決済

① 日常生活で利用するキャッシュレス決済（複数回答可）

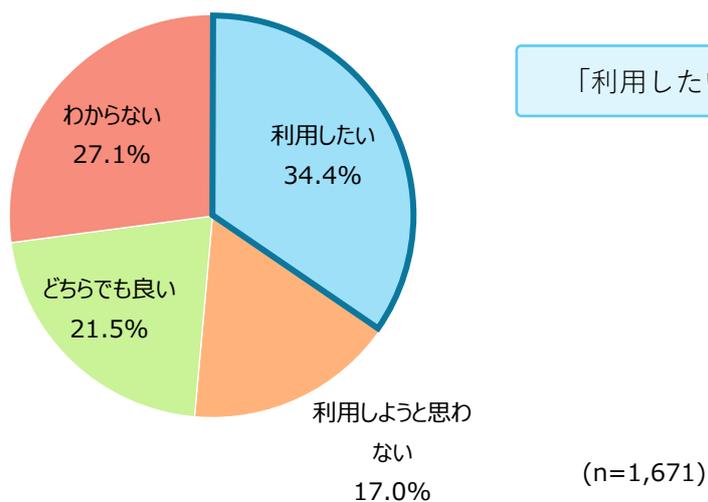


【キャッシュレス種別と年代】



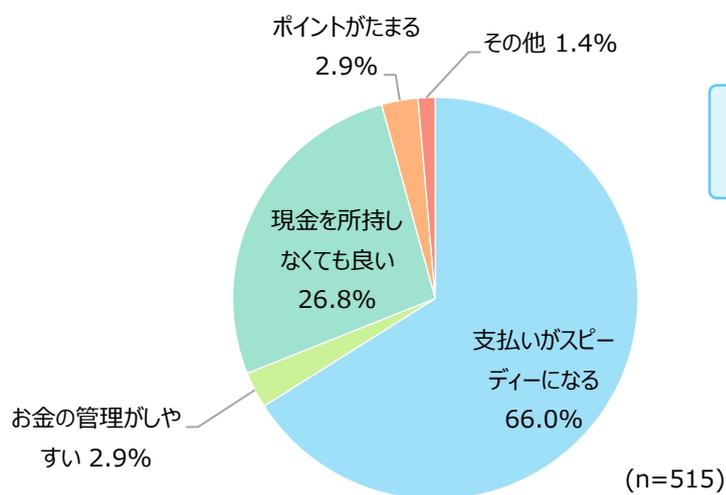
「クレジットカード（タッチ決済）」、「PayPay」、「WAON」がそれぞれ3割以上。
 キャッシュレス種別と年代についてみると、80代以上はいずれの種類も利用率が低い。

②市民バスでのキャッシュレス決済の利用意向



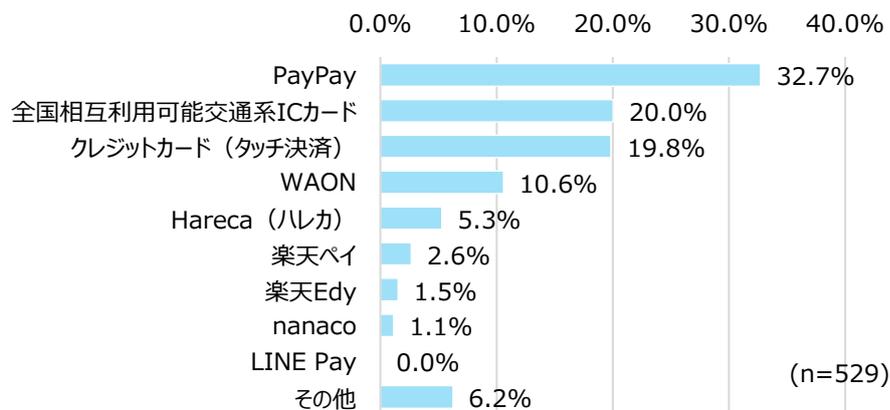
「利用したい」が34.4%。

②-a. 利用したい理由 ※②で「利用したい」と回答した方



「支払いがスピーディーになる」が66.0%と最も多い。

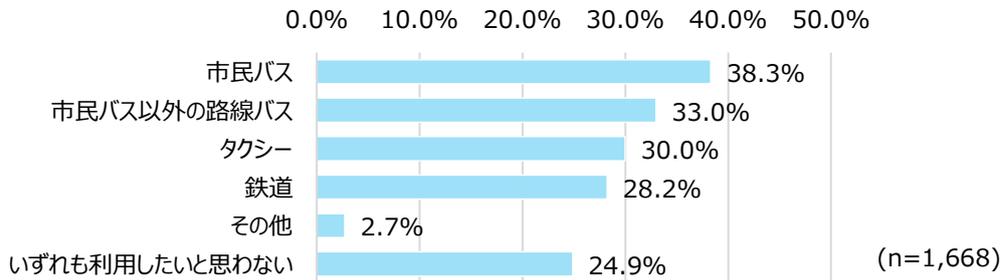
②-b. 最も利用したいキャッシュレス決済 ※②で「利用したい」と回答した方



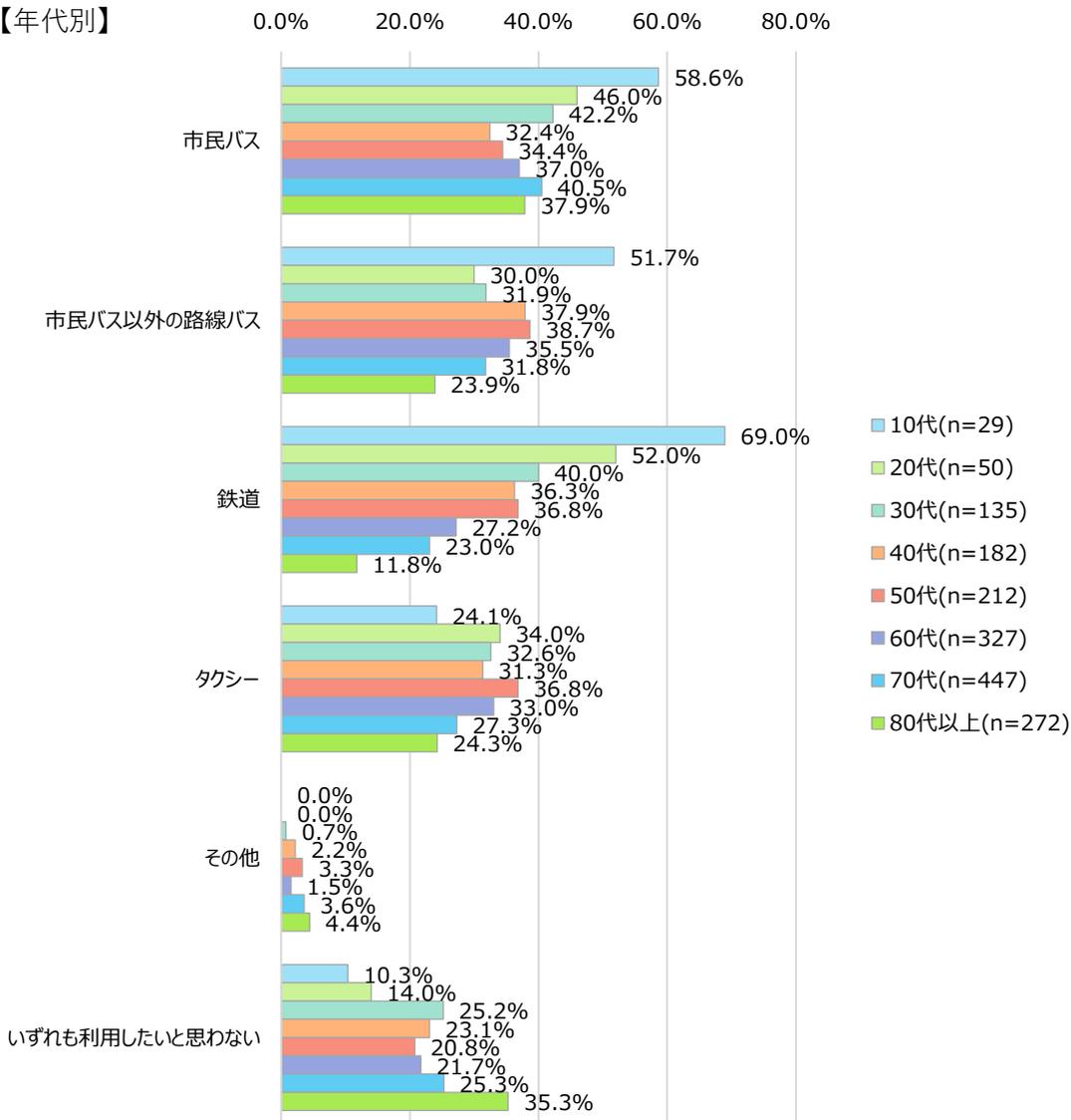
「PayPay」が32.7%と最も多く、次いで「全国相互利用可能交通系 IC カード」が20.0%、「クレジットカード(タッチ決済)」が19.8%。

(5) 複数の公共交通の定額乗り放題サービス（サブスクリプション）

① どのような交通機関でサービスを利用したいか（複数回答可）

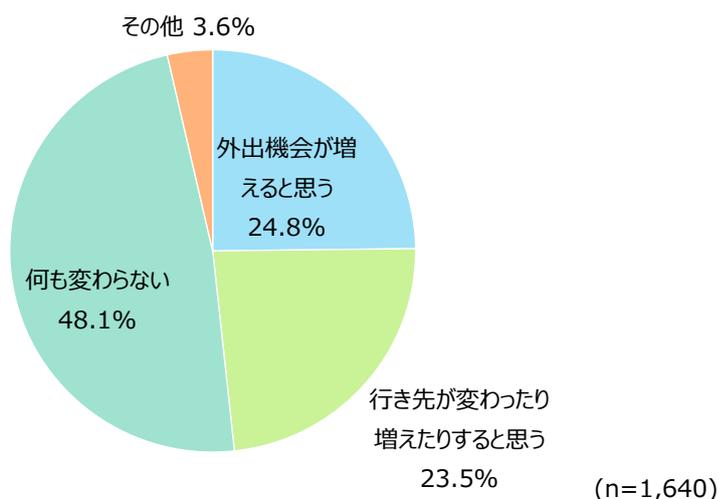


【年代別】



「市民バス」が38.3%と最も多く、次いで「市民バス以外の路線バス」が33.0%。
年代別にみると、「鉄道」は年代が低くなるにつれて選択率が高い。また、80代以上は「いずれも利用したいと思わない」の選択率が高い。

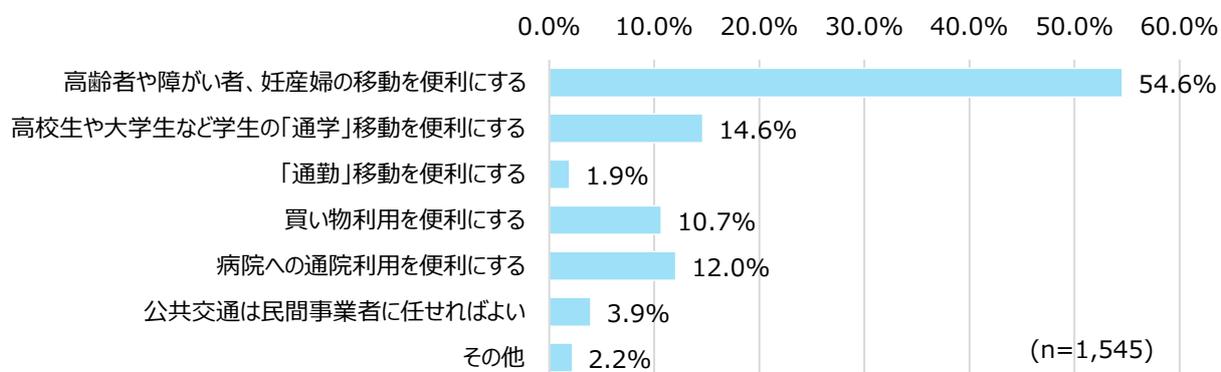
②定額乗り放題サービスによる公共交通の利用状況の変化



「外出機会が増えると思う」が24.8%、「行き先が変わったり増えたりすると思う」が23.5%と、約5割が定額乗り放題サービスによって行動変容すると思うと回答。

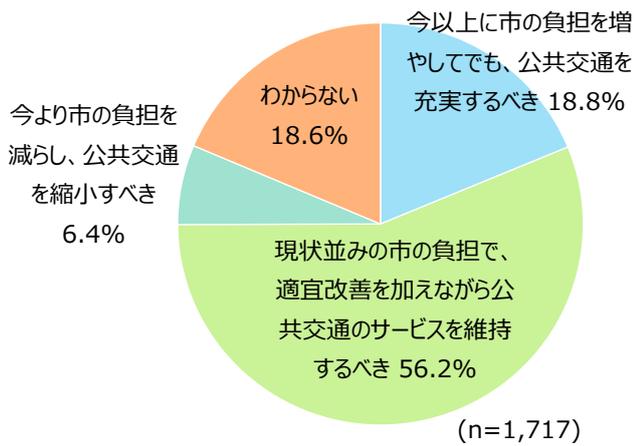
6. 公共交通のサービス水準と市の財政負担について

(1) 優先すべき目的

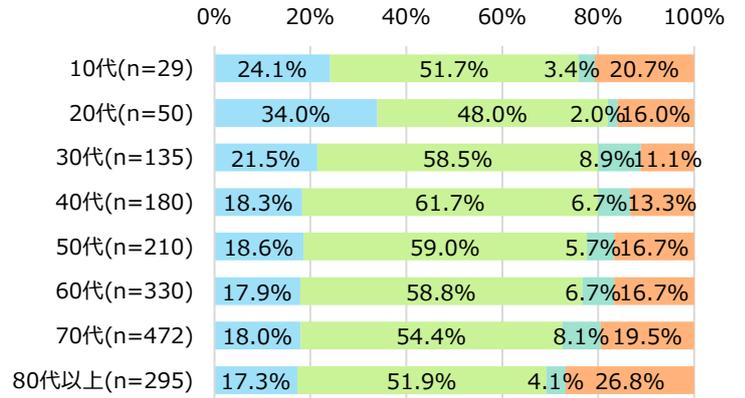


「高齢者や障がい者、妊産婦の移動を便利にする」が54.6%と最も多い。

(2) 市の財政負担のあり方

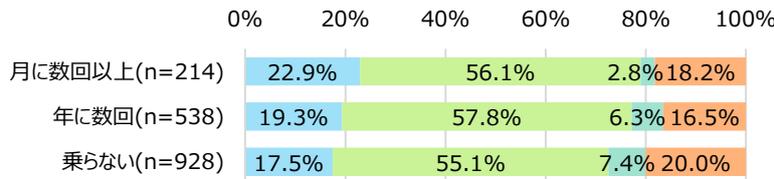


【年代別】



- 今以上に市の負担を増やしてでも、公共交通を充実すべき
- 現状並みの市の負担で、適宜改善を加えながら公共交通のサービスを維持すべき
- 今より市の負担を減らし、公共交通を縮小すべき
- わからない

【バスの利用頻度別】



- 今以上に市の負担を増やしてでも、公共交通を充実すべき
- 現状並みの市の負担で、適宜改善を加えながら公共交通のサービスを維持すべき
- 今より市の負担を減らし、公共交通を縮小すべき
- わからない

【自動車運転免許の有無別】



- 今以上に市の負担を増やしてでも、公共交通を充実すべき
- 現状並みの市の負担で、適宜改善を加えながら公共交通のサービスを維持すべき
- 今より市の負担を減らし、公共交通を縮小すべき
- わからない

「現状並みの市の負担で、適宜改善を加えながら公共交通のサービスを維持すべき」が56.2%と最も多い。

年代別にみると、20代は他の年代と比べて「今以上に市の負担を増やしてでも、公共交通を充実すべき」の回答割合が高い。

バスの利用頻度別、自動車運転免許の有無別では差がみられない。

7. その他自由意見

(多く見られた意見の一部)

- 高齢になったとき、免許返納したときに使える公共交通になってほしい。
- バスの本数を増やしてほしい。
- 瀬戸駅へのアクセスを向上してほしい。
- 通学で公共交通を利用するには不便。

赤磐市
公共交通に関するアンケート調査について
【通勤、通学、買い物、通院などの日常生活における移動に関するアンケート】
- ご協力をお願い -

平素より、赤磐市の交通行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
市では、令和6年度からの新しい「赤磐市地域公共交通計画」の策定に向けて、市の公共交通の現状と課題を把握し、今後の利便性の高い持続可能な公共交通網を作成するための基礎資料とするために、この度、アンケート調査を実施させていただきます。

つきましては、現在の皆さまの移動実態や、公共交通に関するご意見などをお聞きし、地域公共交通計画に反映させることとなりますので、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年10月 吉日
赤磐市長 友實 武則

【回答者】

- ・本調査は赤磐市にお住まいの世帯のうち、無作為に抽出した 3,500 世帯に送付させていただきます。
- ・世帯員の中で高校生以上の方に回答をお願いします。

【回答方法】①または②のいずれかの方法でご回答ください。

①WEBでの回答

右記のQRコードまたは下記のURLからアンケートフォームに入力してください。

<https://forms.gle/kN9e4BmLVzTgioiR7>

※高校生以上の世帯員の方それぞれご回答をお願いいたします。



②この調査票での回答

この調査票に直接記入し、同封している返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

※調査票は 3 枚同封していますが、4 名以上の世帯の方は公共交通の利用を考える可能性がある方から順に 3 名までご記入ください。

※また、4 名以上ご記入いただける場合は、WEBで回答いただくか、市役所までお問い合わせください。

【回答期限】

10月31日(月)までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

【お問合せ先】

赤磐市地域公共交通会議 事務局

赤磐市総合政策部 政策推進課

電話：086-955-2692

メール：kikaku@city.akaiwa.lg.jp



※アンケート調査の回答結果は、本調査以外の目的に利用することはありません。
また、個人情報等が公表されることは一切ございません。

調査票

1. あなた自身について

(1)性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
(2)年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上
(3)居住地	町丁目名をご記入ください (_____) (番地は不要です) 【例1】下市 【例2】山陽1丁目
(4)世帯構成	1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 二世帯世帯 (親と子の世帯) 4. 三世帯世帯 (親と子と孫の世帯) 5. その他 世帯人員: _____ 人
(5)自動車運転免許	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが返納した
(6)自動車運転免許の返納予定	1. 10年以内に返納予定 2. 将来的には返納しても良い 3. 現在のところ返納予定はない
(7)自由に使える車	1. 自分専用の車がある 2. 家族と共有して使っている車がある 3. 自由に使える車はない
(8)日常生活でよく利用する交通手段 (当てはまるものすべてに○)	1. 自動車 (自分で運転する) 2. 自動車 (乗せてもらう) 3. 自動二輪・原付 4. 鉄道 5. 市民バス 6. 民間バス 7. タクシー 8. 福祉タクシー 9. 自転車 10. 徒歩 11. その他 (_____) ⇒このうち、最も利用する交通手段 (番号をひとつ記入) _____
(9)自動車の利用頻度	1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 年に数回 5. 乗らない
(10)バスの利用頻度	1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 年に数回 5. 乗らない
(11)最寄りのバス停	バス停名をご記入ください (_____)
(12)最寄りのバス停までの距離	1. 100m 未満 2. 100~200m 3. 200~300m 4. 300~400m 5. 400~500m 6. 500m 以上
(13)バス停までの移手段	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 (自分で運転する) 4. 自動車 (乗せてもらう) 5. その他 (_____)
(14)鉄道の利用頻度	1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 年に数回 5. 乗らない
(15)自宅近くの最もよく利用する鉄道駅	鉄道駅名をご記入ください (_____)
(16)スマートフォン保有状況	1. 持っている 2. 持っていない

2. 日常生活における移動について

あなたの日常生活における移動について、目的別に教えてください。

(1) 日常的な買い物（食品・日用品）

※当てはまらない方は（2）へお進みください

①よく行く買い物先 (当てはまるもの すべてに○)	1. ゆめタウン山陽（イズミ） 2. コープ山陽 3. ハピーズ山陽店 4. マルナカ山陽店 5. 赤坂ストアー 6. ハピーズ赤坂店 7. マックスバリュ桜が丘店 8. A コープくまやま店 9. ティオ吉井店 10. ハピーマート吉井店 11. その他（店舗名：_____ 所在地：_____）
②時間帯 ※特に決まっていない 場合、「不規則」に ○をしてください	行き（午前・午後_____）時台 ・ 不規則 帰り（午前・午後_____）時台 ・ 不規則 【記入例】（午前・午後 1 ）時台
③頻度	1. ほぼ毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 年に数回
④主な利用交通手段 (どれか ひとつに○)	1. 自動車（自分で運転する） 2. 自動車（乗せてもらう） 3. 自動二輪・原付 4. 鉄道 5. バス 6. タクシー 7. 自転車 8. 徒歩 9. その他（_____）

(2) 定期的な通院

※当てはまらない方は（3）へお進みください

①よく行く医療機関 (最大3つまで)	1. 医療機関名：_____ 所在地：_____ 2. 医療機関名：_____ 所在地：_____ 3. 医療機関名：_____ 所在地：_____ 【記入例】医療機関名： 赤磐医師会病院 所在地： 下市
②時間帯 ※特に決まっていない 場合、「不規則」に ○をしてください	行き（午前・午後_____）時台 ・ 不規則 帰り（午前・午後_____）時台 ・ 不規則 【記入例】（午前・午後 1 ）時台
③頻度	1. 毎週 2. 隔週 3. 月に1～2回 4. 月に1回未満
④主な利用交通手段 (どれか ひとつに○)	1. 自動車（自分で運転する） 2. 自動車（乗せてもらう） 3. 自動二輪・原付 4. 鉄道 5. バス 6. タクシー 7. 自転車 8. 徒歩 9. その他（_____）

(5) コロナ禍前後での移動頻度の変化

コロナ前（2020年2月以前）と現在を比較して、出かける頻度は変わりましたか。また、コロナ禍が明けた後、出かける頻度は変わるとお考えですか。

① 日常的な買い物に出かける頻度	コロナ前と比べて 1. 変わらない 2. 減った 3. 増えた 4. もともとこの目的では出かけていない
	コロナ禍が明けたら 1. コロナ前に戻ると思う 2. 現在より増えると思う 3. 現在と変わらないと思う 4. 現在より減ると思う
② 定期的な通院の頻度	コロナ前と比べて 1. 変わらない 2. 減った 3. 増えた 4. もともとこの目的では出かけていない
	コロナ禍が明けたら 1. コロナ前に戻ると思う 2. 現在より増えると思う 3. 現在と変わらないと思う 4. 現在より減ると思う
③ 通勤の頻度	コロナ前と比べて 1. 変わらない 2. 減った 3. 増えた 4. もともとこの目的では出かけていない
	コロナ禍が明けたら 1. コロナ前に戻ると思う 2. 現在より増えると思う 3. 現在と変わらないと思う 4. 現在より減ると思う
④ その他の目的での定期的なお出かけの頻度	コロナ前と比べて 1. 変わらない 2. 減った 3. 増えた 4. もともとこの目的では出かけていない
	コロナ禍が明けたら 1. コロナ前に戻ると思う 2. 現在より増えると思う 3. 現在と変わらないと思う 4. 現在より減ると思う

3. バスの満足度・重要度について

赤磐市内を運行しているバスについて、以下の項目の満足度と重要度それぞれにひとつずつ○をつけてください。

	満足度					重要度				
	1~5のうち、ひとつに○					1~5のうち、ひとつに○				
	不満	←→			満足	低い	←→			高い
【例】(1)運行本数	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
(1)運行本数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)運行時間帯	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)始発便の時間帯	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)最終便の時間帯	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)料金	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)行きたいところへの路線	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)目的地までの所要時間	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)自宅からバス停までの距離	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)時刻表や路線図のわかりやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)車両のわかりやすさ(車体色など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11)車両のバリアフリー(段差など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12)バス停環境(屋根・イス・時刻表)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)バスとバスとの乗り継ぎ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14)バスと鉄道との乗り継ぎ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
総合評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4. バス停の環境について

バス停にあるといいものは何ですか。(当てはまるものすべてに○)

1. ベンチ	2. 屋根	3. 夜間照明	4. 駐輪場(自転車)
5. その他(.....)			

5. 市民バスの新たな取り組みについて

市民の皆さまにより利用しやすい公共交通を提供するために、新たな取り組みを検討しています。次の(1)～(5)の項目について、ご意見をお聞かせください。

(1)予約型乗合バス

予約型乗合バスとは、予約に応じてご自宅付近へ迎えに行き、乗り合わせで、あらかじめ特定した目的地（商業施設や医療機関）に向けて、運行する交通サービスです。本市では、吉井地域において運行しています。

【現在、市内を運行しているバスの運行形態】

	定時定路線 (山陽・赤坂・熊山地域)	予約型乗合バス (吉井地域)
乗降場所	バス停	自宅付近 (バス停まで歩く必要がない)
予約方法	予約不要	電話で事前予約
所要時間	概ね時刻表の通り	乗り合わせの状況により 変動する可能性がある

【例：予約型乗合バスの予約方法イメージ】



※帰りも予約が必要です

①お住まいの地域へ予約型乗合バスを導入した場合、あなたは利用すると思いますか。

1. 利用したい ⇒ ①-a をお答えください
2. 利用しようと思わない ⇒ ①-b をお答えください
3. わからない ⇒ 次ページの (2) へお進みください

①-a. 利用したい理由についてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 目的地入口まで乗り入れるから | 2. 必ず座れるから |
| 3. 身体的な理由で利用したいから | 4. 家族や知人に送迎を頼む必要がなくなるから |
| 5. タクシーより安そうだから | 6. その他 () |

①-b. 利用しようと思わない理由についてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 他の交通手段が便利だから | 2. 事前登録、予約が面倒だから |
| 3. 運賃が高そうだから | 4. 相乗りが嫌だから |
| 5. 便数が少なく不便だから | 6. その他 () |

(2)貨客混載

貨客混載とは、乗客と荷物の輸送・運行を一緒に行う取り組みです。岡山県久米南町では予約型乗合タクシーの空きスペースを活用し、お弁当など商品の配達や町内の個人間での荷物のやりとりなどの宅配サービスを比較的安価で提供しています。

どのような使い方ができたら利用してみたいと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

1. お弁当など事前に予約した商品を店舗から宅配
2. 野菜・料理のお裾分け等、個人間の荷物のやりとり
3. 直売所、店舗等への荷物の出荷
4. その他 ()
5. いずれも利用してみたいと思わない

(3)移動サービスの最適化、予約・決済を一括で行うサービス

複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて経路検索や予約・決済を一括で行うサービスです。

【イメージ】

経路検索	予約・決済
出発 赤磐市中山〇〇〇	■ 予約内容
到着 赤磐市役所	デマンド型市民バス 中山線 行き1便
2022/10/3 9:00 出発	出発地 9:40 赤磐市中山〇〇〇
■ 検索結果 ■	目的地 10:05 周匝バス停
10/3(月) 9:40 - 11:00 1時間20分 700円	利用者のお名前 〇〇 〇〇
● 9:40 赤磐市中山〇〇〇	お電話番号 XXX-XXXX-XXXX
デマンド型市民バス 中山線 25分 200円	■ 決済内容
● 10:05 (8分) 周匝	・デマンド型市民バス 中山線 200円
10:13	・広域路線バス 赤磐・美作線 500円
広域路線バス 赤磐・美作線 43分 500円	合計 700円
● 10:56 瀬戸線下市	■ 決済方法
4分 徒歩	クレジットカード払い
● 11:00 赤磐市役所	上記の内容で 予約・決済をする
予約・決済	

このようなサービスを利用してみたいと思いますか。

1. 利用したい
2. 利用しようと思わない (理由:)
3. わからない

(4)キャッシュレス決済（交通系 IC カード、電子マネー、QR コード決済等）

- ① 普段、買い物等の日常生活で、どのようなキャッシュレス決済を利用されていますか。
（当てはまるものすべてに○）

1. クレジットカード（タッチ決済）
2. 全国相互利用可能交通系 IC カード（ICOCA、Suica、PASMO、PiTaPa 等）
3. Hareca（ハレカ）
4. WAON
5. nanaco
6. 楽天 Edy
7. PayPay
8. 楽天ペイ
9. LINE Pay
10. その他（）
11. 上記のキャッシュレス決済は使っていない

- ② 市民バスでキャッシュレス決済を利用したいと思いますか。

1. 利用したい ⇒ ②-a, ②-b をお答えください
 2. 利用しようと思わない
 3. どちらでも良い
 4. わからない
- ⇒ (5) へお進みください

- ②-a. 利用したい理由について、最も当てはまるものをひとつ選んでください。

1. 支払いがスピーディーになる
2. お金の管理がしやすい
3. 現金を所持しなくても良い
4. ポイントがたまる
5. その他（）

- ②-b. 最も利用したいキャッシュレス決済ひとつに○をつけてください。

1. クレジットカード（タッチ決済）
2. 全国相互利用可能交通系 IC カード（ICOCA、Suica、PASMO、PiTaPa 等）
3. Hareca（ハレカ）
4. WAON
5. nanaco
6. 楽天 Edy
7. PayPay
8. 楽天ペイ
9. LINE Pay
10. その他（）

(5)複数の公共交通の定額乗り放題サービス（サブスクリプション）

公共交通の利用を促進するため、一定金額で鉄道やバスなど複数の交通機関に乗り放題となる交通サービスです。行動変容をもたらす可能性のある施策としても注目されています。

- ① どのような交通機関の定額乗り放題サービスを利用したいと思いますか。
（当てはまるものすべてに○）

1. 市民バス
2. 市民バス以外の路線バス
3. 鉄道
4. タクシー
5. その他（）
6. いずれも利用したいと思わない（理由：）

②定額乗り放題サービスがあれば、あなたご自身の公共交通の利用状況が変わると思いますか。

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 外出機会が増えると思う | 2. 行き先が変わったり増えたりすると思う |
| 3. 何も変わらない | 4. その他 () |

6. 公共交通のサービス水準と市の財政負担について

現在、赤磐市が運営する市民バス及び広域路線バスの総経費は約 7,200 万円です。そのうち、料金収入は約 1,700 万円で、残りの約 5,500 万円は、国の特別交付税のほか、地方債と、市の税金を充当しています。(令和 3 年度決算額：特別交付税約 4,100 万円、過疎対策事業債約 800 万円、市税約 600 万円)

公共交通に対する、今後の市の財政負担のあり方についてのお考えをお聞かせください。

(1)市が運営する公共交通について、どのような目的を優先すべきだと考えますか。あなたの考えに最も近いものひとつに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 高齢者や障がい者、妊産婦の移動を便利にする | |
| 2. 高校生や大学生など学生の「通学」移動を便利にする | |
| 3. 「通勤」移動を便利にする | 4. 買い物利用を便利にする |
| 5. 病院への通院利用を便利にする | 6. 公共交通は民間事業者任せればよい |
| 7. その他 () | |

(2)今後の、市の財政負担のあり方として、あなたの考えに最も近いものひとつに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 今以上に市の負担を増やしても、公共交通を充実するべき |
| 2. 現状並みの市の負担で、適宜改善を加えながら公共交通のサービスを維持するべき |
| 3. 今より市の負担を減らし、公共交通を縮小すべき |
| 4. わからない |

7. 公共交通についてご意見などございましたらご自由にお書きください